

履修コード	027401
科目名	アメリカ文学演習I
担当者名	佐藤 江里子

講義の到達目標(ねらい)	19世紀アメリカの女性詩人、Emily Dickinsonの詩を読む。 時代背景をふまえ、同時代、あるいは20世紀のアメリカ詩人と比較し、様々な角度からDickinsonを考察する。 詩の精読を通して、英語力を高め、作品を原文で理解する楽しさを実感する。
講義の内容/ 授業スケジュール	テキストに従い、1回の授業で4～6篇の詩を読む。毎回2～3人に発表してもらう。 発表者は事前に指名するので、きちんと準備をし、発表に臨むこと。 それぞれの発表が終わったら、作品についてディスカッションをするので、発表者以外の人も、自分が感じたこと、疑問点、解釈などをまとめておく。 詩の内容に応じて、Dickinsonが残した手紙や彼女の作品に関する評論、ほかの詩人の作品等を参照する。その場合はプリントを配布する。 前期後期の授業最終日に課題レポートを提出。
準備学習	わからない単語は辞書で調べておく。
履修上の留意点	辞書を用意して授業に出席すること。 授業に関係ないこと(私語や他の教科をする、携帯を使う、寝などの行為)をした場合は欠席扱いとする。 授業中の携帯電話の使用は、一切認めない(辞書機能使用も不可)。 出席日数が全授業日数の3分の2以上に達してる場合のみ、評価の対象となる。 前期に4回以上欠席した場合は、評価の対象から外れる。
成績評価の方法	年2回(前期後期)の課題レポート(50%)と授業内の発表、提出物、授業態度などの平常点(50%)から総合的に評価する。特に授業態度を重視する。 履修上の留意点をきちんと守れない場合は、大幅な減点となる。
教科書/テキスト	①『エミリー・ディキンソン詩選』(新倉俊一注釈、研究社出版) ②『対訳ディキンソン詩集』(亀井俊介著、岩波文庫)
参考書	授業中に紹介します。

履修コード	027501
科目名	アメリカ文学演習II
担当者名	梶台 七重

講義の到達目標(ねらい)	Jack Kerouacの散文集、Lonesome Travelerの中から5編を精読します。Kerouacは自信の人生と作品がほとんど直接的関連を持つ。彼の実人生および文学的な主題であった放浪と宗教についても同時に考えてみましょう。取り上げられている地名、人物名、名称などにもあたることで自ずとアメリカの歴史や文化にも触れることとなります。Kerouacの特徴的なリズムミカルな口語文体を読み、文法だけにとらわれず自由な英語表現の幅を広げましょう。授業には必ず予習をして臨んでください。
講義の内容/ 授業スケジュール	1. introduction 2-3. Author's introduction 4-15. Piers of the Homeless Night 16-23. Alone on a Mountaintop 24-30. The Vanishing American Hobo
履修上の留意点	演習科目により、毎回予習が前提となります。特に発表者は、担当時に無断欠席をした場合大きく減点となるので注意してください。辞書は必携のこと。参考として日本語訳をあげておきますが、訳す際には必ず自分の言葉で考えること。課題や発表の際に日本語訳本をまる写しした場合、無効とします。
成績評価の方法	出席と毎回の課題が40%、発表が20%、レポートが前期・後期 其々20%ずつ。 毎回の課題提出を出席代わりにします。
教科書/テキスト	Jack Kerouac, Lonesome Traveler, Penguin Classics, 6. 99pound, ISBN 0-14-118490-6
参考書	中上哲夫訳、『孤独な旅人』(河出文庫)、860円、ISBN4-309-46248-0

履修コード	027601
科目名	アメリカ文学演習III
担当者名	松本 昇

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ黒人文学に親しむ。
講義の内容/ 授業スケジュール	ピューリッツァー賞受賞作家アリス・ウォーカーの代表作『カラー・パープル』を読む。この小説に描かれた黒人女性の状況、宗教、音楽等を浮き彫りにする形で読む。まずはスプリング映画監督による映画『カラー・パープル』を観ることで、全体の流れを把握することから始めよう。
履修上の留意点	前もって学生に課題を出して、それについて話してもらい、みんなで討論する。当てられた人は、必ず答えてもらう。
成績評価の方法	授業への参加度20点、前期及び後期にそれぞれ課題を2回提出(20点)、後期に試験(60点)の計100点とする。
教科書/テキスト	Alice Walker. The Color Purple. PHOENIX 1時間に10頁位進むし、ときどき黒人独特の表現が出てくるので、翻訳本があったほうが便利です。 ○ アリス・ウォーカー著『カラー・パープル』(集英社文庫)

履修コード	027701
科目名	アメリカ文学演習IV
担当者名	古富 猛

講義の到達目標(ねらい)	ホーソンやメルヴィル等イギリス性の強いアメリカ文学から、いわゆるアメリカ社会に根ざしたアメリカ文学の代表的執筆者であるソローとフォークナーの作品の概説と作品のひとつを演習します。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期はソローについて、(1)～(15)で、最初の(1)～(2)はソローが持つ意味を解説して後、学生にその紀行文を、予習してきてもらい、演習のひとつとします。後期はフォークナーについて、その作品のもつ意味を(16)～(17)で解説し、その作品のひとつを(18)～(30)で読解演習します。
履修上の留意点	演習に必要なのは基礎的(中、高で習った事)能力なので、もう一度復習してもらう事を望みます。
成績評価の方法	前期は、筆記試験は実施しないで、各時間に2名ぐらいソローの作品をプリント使用で、予習発表してもらい評価とします。後期はフォークナーの作品を、各学生と購読形式で、作品演習し、それについての筆記試験を実施します。
教科書／テキスト	前期はソローの『The Main Woods』のプリントを配布しテキストとします。 後期はフォークナーの短篇を教場にて指示します。

履修コード	027801
科目名	アメリカ文学演習V
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい)	アメリカの短篇小説を読む。 作家は、Edgar Allan Poe, Nathaniel Hawthorne, Mark Twain, Ambrose Bierce, Stephen Craneを扱う。いずれもアメリカ文学の古典といわれる作品で、これらを通しアメリカ文学の全体像も感じとれると思う。
講義の内容／ 授業スケジュール	講読する作家・作品に関しては、授業開講時に簡単に説明する。あらかじめ発表部分を割り当てておき、それを音読・訳読していただく方法で進めていく。発表者への質問、こちらからの説明などを含め、作品を分析し、作家のねらいなども併せて探っていく。
準備学習	とくに必要ではないが、扱う作家について予め文学史等で調べておくのがよいであろう。
履修上の留意点	遅刻・欠席はマイナス評価となり、これが重なる場合には履修・試験を受ける資格を失うこともあるので注意されたい。
成績評価の方法	前期・後期の最終授業時にテストを行なうが、割り当てられた発表の回数、ならびにその内容、姿勢など、さらに遅刻・出欠など総合的に判断し評価を出す。
教科書／テキスト	テキストは、『古典アメリカ短編集』(成美堂) ¥1050
参考書	必要に応じ、授業内において、その都度指示していく。

履修コード	025201
科目名	アメリカ文学史
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい)	一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。
講義の内容／ 授業スケジュール	アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点を絞り、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。
履修上の留意点	講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。 毎回ではないが、出欠の確認をする。しかしこれは成績評価とはまったく関係はない。試験を受ける資格があるか否かを調べるだけのものだとすることを承知していただきたい。
成績評価の方法	期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。
教科書／テキスト	西田実『アメリカ文学史』(成美堂) 2,205円
参考書	『アメリカ文学案内』(朝日出版社) その他は講義を進めて行く中で、適宜紹介して行く。

履修コード	026401
科目名	アメリカ文学特講I
担当者名	東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい) アメリカ詩人の作品を精読し、アメリカの文化、芸術、社会、経済、政治等を考えます。アメリカ詩を通時的、共時的に考察し、アメリカとは何かを考えるのが、この講義の主眼です。グローバル・ヴィレッジ化や越境化が進行する21世紀において、ダイナミックなアメリカ文学の動向は、アングロ・アメリカン(白人)文学を視座にした従来の閉塞的な把握方法では、捉えきれません。アメリカ文学、広義にはアメリカの芸術一般の根源的な特徴は、その多様性で、また、アメリカ的なものの定義と強調・主張です。

How do I find America? What is America? Who is an American? これらの自意識や自問のうちに、様々なアメリカ詩人たちが、独自の詩を創作しています。巨大なサラダポール化したエスニックのアメリカが、今後どのような方向に進もうとしているのか。その未来のヴィジョンを受講者各自に考えまてもらいます。アメリカ詩の精読を通して、英語力を高め、また、リスニング力を高めるために、ジャズやミュージカルの英語の歌も鑑賞します。

講義の内容／授業スケジュール 毎回、数名の詩人・芸術家を取り上げ、その作品を精読します。歴史、文化、社会、時代精神、その時代の思潮も考察します。また各時代の代表的な音楽や映画も随時取り上げます。

①アメリカ文学の発生と実用文学、並びに白人移民による先住民への迫害、ジェイムスタウンとプリマスが意味するもの(1~4) ②アメリカの荒野と自然、歌の夢並びに独立革命(5~7) ③「明白な運命」の嘘・分離戦争としての南北戦争と西部開拓時代、ホイットマンを読む(8~10) ④アマーストの隠遁者の魔女、エミリー・ディキンソンを読む。彼女は如何にして厳格な神を飼ひ馴らしたのか ⑤アメリカの世紀末からモダニズム、農本主義の完全崩壊と産業資本主義の形成・第1次世界大戦と迷える若者たちとアメリカン・エグザイル、バウンドとエリオットのモダニズム ⑥アフリカン・アメリカン文学の台頭、ハーレム、そしてジャズとは何か・ラングストン・ヒューズたちのルネッサンス・地霊を守るモダニスト(11~15) ⑦大恐慌から第2次世界大戦、ピンクのリボンに飾られた小箱(または精巧に作られた壺)のような詩、形式主義者たちの詩を読む(16~18) ⑧沈黙した社会への反逆と対抗文化、ビート詩人とギンズバーグを読む。大胆な告白をする詩人たちのプロテスト詩 ⑨ロバート・ブライ、ジェイムズ・ライトの牧歌的瞑想とアウトサイダー指向 ⑩ポストモダニズム考察、ソローに回帰するエコロジー、ディキンソンの妹リッチのフェミニズム詩を読む(19~20) ⑪祖国を奪われた人々、チカーノ/チカーナの詩人、ネイティヴ・アメリカンの詩人を読む(21~24) ⑫アメリカの子どもの詩、アメリカの児童文学と詩、マザーグースはボストンに永眠する(26~)

履修上の留意点 3回以上の無断欠席者は、評価対象外者となります。病気や事故等、理由のある欠席は、欠席届を必ず提出すること。

成績評価の方法 ①年間5回ほどの授業内小レポート(25%) ②2000字以上の前期レポート(25%) ③2000字以上の後期レポート(25%) ④質疑応答等の授業への貢献度(25%)

教科書／テキスト 新倉俊一著『アメリカ詩入門』研究社 2000円程度、その他、プリント配布。

参考書 開講時、並びに講義内にて随時指示する。

履修コード	026501
科目名	アメリカ文学特講II
担当者名	梶台 七重

講義の到達目標(ねらい) アメリカ文学史上、Beat Generationの代表的作品であるJack KerouacのOn the Roadを、映像、音楽、写真、メディア等の資料を用いながら購読します。前期では、Kerouac以外の他のBeat作家や詩人たちを総体的に捉え、カウンター・カルチャーの始点として見た場合、Beatがもたらした文化的影響とは何かを考えます。それらを踏まえたうえで、On the Roadを第1部から第2部まで購読します。後期は、続きの第3部から最後5部を読み終えた後、作者であるKerouacの作家像に迫り、第二次世界大戦後のアメリカ文学におけるこの作品の意義を探ります。またbelief and technique for modern proseを参考にし、Kerouacの特徴的であるcolloquialな表現に親しみましょう。受講者は其々、この作品の中に今日の主題を探しながら読み、レポートに反映しましょう。

講義の内容／授業スケジュール 1. introduction
2-5. Beat Generationについて
(映像作品:『ビートニク』等を含む)
6-15. On the Road 第1部-第2部
16-25. 第3部-第5部
26-29. Jack Kerouacについて
(映像作品:『ケルアックに何が起こったのか?』等を含む)
30. まとめ: Beatの文学・文化的影響と可能性、女性とBeatについて

履修上の留意点 原則として遅刻や無断欠席は厳禁。辞書は必携のこと。作品はあらかじめ必ず読んでおくこと。

成績評価の方法 出席とレポートを重視します。レポートは其々中間に1回ずつと、最後に1回ずつ、前期・後期で計4回提出してください。成績は出席と授業貢献度が40%、レポートが前期・後期30%ずつ。

教科書／テキスト Jack Kerouac, On the Road, Penguin Classics, 8.99pound, ISBN 0-14-118267-9

参考書 バリー・ギフォード&ローレンス・リー、『ケルアック』(毎日新聞社)3,400円、ISBN4-620-31205
雑誌 ユリイカ1999年11月号 特集『ケルアック ビートの衝撃』(青土社)1,300円、ISBN4-7917-0051-1
その他、参考資料などは印刷したものを配布する。

履修コード	026701
科目名	アメリカ文学特講IV
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい) 現代アメリカ小説を映画で読む。原作を踏まえたうえで、映像作家の作品解釈を探り、個の在り方がどのように扱われているかを考える。

講義の内容／授業スケジュール 前期:(1~4)背景としての大恐慌時代(5~10)スタインベック作『二十日鼠と人間』(11~15)フィッツジェラルド作『グレート・ギャツビー』
後期:(16~20)トルーマン・カポーティ作『ティファニーで朝食を』(21~25)ケン・キージー作『カッコーの巣のうで』(26~30)マイケル・カニンガム作『めぐりあう時間たち』。

履修上の留意点 扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法 毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート(各40字×30行=1200字程度)で評価。

教科書／テキスト 随時紹介する。

参考書 荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社1996年) ISBN:4787584588
ベラ・パラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学芸書林1992年) ISBN:4905640857

履修コード	026801
科目名	アメリカ文学特講V
担当者名	西原 克政

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ詩の中でも、特に軽みを特色とする「ライト・ヴァース」というジャンルを考察する。
講義の内容/ 授業スケジュール	1. オリエンテーション 2. アメリカのライト・ヴァース 3. アメリカのライト・ヴァース 4. 失われたファウナをもとめて 5. 失われたファウナをもとめて 6. イマジストたちの不思議な熱狂 7. イマジストたちの不思議な熱狂 8. ウォレス・ステイヴンズ 9. ウォレス・ステイヴンズ 10. カミングズのためのハミングズ 11. カミングズのためのハミングズ 12. ポール・サイモン・サイモンの世界の断片 13. ポール・サイモン・サイモンの世界の断片 14. フロストの「雪の降りつもる夕暮」 15. 前期試験 16. 風景との対話 17. 風景との対話 18. 詩と円環 19. 詩と円環 20. ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ 21. ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ 22. 「死を思考する詩」 23. 「死を思考する詩」 24. ネイオミ・シハブ・ナイと「バケツの中の風」 25. ネイオミ・シハブ・ナイと「バケツの中の風」 26. 自分のアンソロジーを作る 27. イギリスとアメリカのライト・ヴァース 28. イギリスとアメリカのライト・ヴァース 29. アメリカの子供詩 30. 後期試験
履修上の留意点	授業に際して予習に最も力を入れてもらいたい。
成績評価の方法	授業回数の3分の2以上の出席が必要となる。それに前期・後期の試験成績を考慮に入れて、総合的に判断評価する。
教科書/テキスト	西原克政『アメリカのライト・ヴァース』（港の人）2835円 ISBN 978-4-89629-03098
参考書	授業中に適宜指示する。

履修コード	026901
科目名	イギリス文学演習I
担当者名	河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい)	昨年度に引き続きWilliam Shakespeareの四大悲劇のひとつと言われるHamletを精読しながら、伝統と新しさを総合的に描き切ったこの劇作家の英語の面白さならびにルネサンス期の社会状況や文化的背景について考察する。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1~3) Shakespeareの英語ならびに文献について。(4) 第1幕の復習。(5~8) 第2幕1場。(9~15) 第2幕2場。(16~19) 第3幕1場。(20~26) 第3幕2場。(27~29) Shakespeareの時代的ならびに文化的背景。(30) まとめならびに総復習。
履修上の留意点	Shakespeareの四大悲劇に関する書物を熟読し、その文学的特性についてあらかじめ把握しておいていただきたい。なお、開講時にShakespeareの文学ならびに英語に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認をし、研究に役立てていただきたい。
成績評価の方法	(a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに(c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。なお、この講義は演習科目なので、全員参加という形で行いたい。予習状況も評価の対象とする予定。
教科書/テキスト	Riverside版をコピーで配布する予定。

履修コード	027001
科目名	イギリス文学演習II
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	ギャスケルとディケンズの短編を読み、英文読解力の向上とテキスト分析の基礎技術の習得を目指します。リスニングも行います。慣れるまでは英語がやや難しく感じるかもしれませんが、小説の黄金期と言われるヴィクトリア朝の文豪たちの原文の魅力を味わえます。 授業は、前半はグループディスカッション、後半は教官による説明。 前期と後期に、 [課題1] ディスカッションの内容をまとめたもの [課題2] 自由に選んだテーマで書いたレポート を提出。優秀レポートの口頭発表あり。前期・後期末にディクテーションと音読試験あり。 ディスカッション、レポート、口頭発表は英語・日本語のいずれも可。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期 (1) オリエンテーション (2) 精読 (3~13) ディスカッション形式による通常授業。うち1回はレポート作成法と精読。 (14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。 (15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。 後期 (1~13) 通常授業 (14) レポート提出。ディクテーションおよび音読試験。 (15) レポートの全体コメントと個別返却。優秀レポートの発表。
履修上の留意点	1 ディスカッションに参加できるよう、十分な予習をして臨むこと 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること 3 レポート作成においては書式を指定するので最低限のパソコンの知識を持つこと
成績評価の方法	3分の2以上の出席が必要。出席と授業への貢献度、レポートの内容とディクテーションと音読試験の結果により総合的に評価。
教科書/テキスト	田中英史、横山幸三 註解 『古典イギリス短編集』(成美堂) ¥1,300 ISBN4-7919-0029-4-C1382
参考書	1 川口喬一『イギリス小説入門』(研究社)イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られます。 2 Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006) 大変優れた文法書。練習問題がついていますが、解説部分に目を通すだけでも確実に英語力が向上するでしょう。
その他	受講者が50名を超えた場合は選抜試験を行うことがあります。

履修コード	027101
科目名	イギリス文学演習III
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい)	イギリスの1950年代に登場した‘Angry Young Men’ とほぼ同じ時期に現われた一群の詩人たちについて読んでいく予定です。‘The Movement’ と呼ばれた彼らは、イギリス人の日常生活を分かりやすい率直な言葉で描写していたが、彼らが自らの詩という表現方法によってどのように20世紀後半のイギリス社会とのつながりを認識していったのかなどについて考察していきます。
講義の内容／授業スケジュール	‘The Movement’ に属する詩人、主にPhilip Larkin をとりあげ、前、後期でできるだけ多くの作品を読んでいきます。 (1～8) THE NORTH SHIP (9～15) THE LESS DECEIVED (16～24) THE WHITSUN WEDDINGS (25～30) HIGH WINDOWSなどの詩集を読んでいきます。
履修上の留意点	演習ですので予習を欠かさずに受講して下さい。
成績評価の方法	前期のレポートや後期の試験、出席状況、平常点などによって成績評価をする。
教科書／テキスト	教場にて指示する。
参考書	Philip Larkin, COLLECTED POEMS (Faber and Faber, 1988)
その他	それぞれの詩人の作品を精読しながら、彼らの詩的特質や伝記的な側面について考えていきます。

履修コード	027301
科目名	イギリス文学演習V
担当者名	大淵 利春

講義の到達目標(ねらい)	H. G. ウェルズの短編小説を読む。英文学を原文で読む語学力の習得に加え、イギリスのSF小説を味読したい。
講義の内容／授業スケジュール	前期は、最初の3時間程度の作家H. G. ウェルズの紹介をし、その後短編‘The Door in the Wall’を読む。後期は‘The Country of the Blind’を読む。前、後期とも、テキストを読むだけでなく、それに関する研究書を読んだり、‘The Time Machine’等の他のウェルズの作品、さらには他のイギリスのSF作家の作品にも触れていきたい。また、ウェルズの作品をもとに、すぐれた映画も数多く製作されているため、そうした映画も活用する。
履修上の留意点	授業中は各学生にテキストを読んでもらったり、意見を発表してもらったりする予定なので、予習が必要。
成績評価の方法	前、後期のレポートをもとにしながら、日頃の授業への参加度も加味し、総合的に評価する。
教科書／テキスト	テキストは用いず、適時プリントを配布します。
参考書	参考書はたくさんあるので、授業中に指示します。
その他	SFなどの文学が好きな人の受講を期待します。

履修コード	025301
科目名	イギリス文学史I
担当者名	河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい)	古期から18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮ならびに各時代に現れた主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。
講義の内容／授業スケジュール	(1) イギリスの風土と文学について。(2～3) アングロ・サクソン文学の内容と特質。(4～5) 中世後期の文学の内容と特質。(6～8) チョーサー文学。(9～10) ルネサンス前期の文学の内容と特質。(11～12) ルネサンス後期の文学と特質。(13～15) シェイクスピア文学。(16～17) 17世紀の文学の内容と特質。(18～19) ジョン・ダンとその一派。(20～21) ジョン・ミルトン文学。(22～23) 新古典主義文学。(24～25) 18世紀の文学の内容と特質。(26～29) 市民社会と小説の隆盛。(30) まとめならびに総復習。
履修上の留意点	イギリス史に関する一般的な書物を熟読し、時代の流れを把握しておいていただきたい。授業は講義形式で行い、重要な作品ならびに文献はできるだけコピーで配布するので、文献整理を忘れないでいただきたい。
成績評価の方法	(a) 夏期レポート、(b) 1月の定期試験、ならびに(c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。(a) 20パーセント、(b) 70パーセント、(c) 10パーセントの割合で成績を評価する予定。
教科書／テキスト	相島倫嘉『イギリス文学の流れ』(南雲堂、3800円)

履修コード	025401
科目名	イギリス文学史II
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	18世紀後半以降のイギリス文学の展開を、各時代の代表的な作品(詩、小説、批評)に焦点を当てながらとどります。
講義の内容／授業スケジュール	授業はおおよそ以下のスケジュールに沿って進めます。 第1回：前期ロマン主義(ゴシック小説)、第2～5回：ロマン主義(ブレイク、ワーズワス、キーツ、シェリー他)、第6～9回：19世紀の小説(オースティン、ディケンズ、フロレンス他)、第10～11回：ヴィクトリア朝の詩(ブラウニング、テニスン)、第12～13回：近代の批評(ペイター、ワイルド他)、第14回：19世紀から20世紀へ(ハーディ、コンラッド)、第15回：前期のまとめ、第16～18回：モダニズムの詩と批評(イェイツ、エリオット)、第19～23回：モダニズムの小説(ジョイス、ロレンス、ウルフ他)、第24～25回：大戦間の文学、第26回：大戦後の文学——怒れる若者たち、第27回：ファウルズとレスリング、第28～29回：1980年以降の文学(ラーキン、ヒーニー、カーター、イングロ他)、第30回：後期のまとめ。
準備学習	授業ではできるだけ具体的な作品の紹介に主眼を置きますので、各時代の社会・文化的背景等については、参考書等で補うように努めてください。
履修上の留意点	授業の最後に質問の時間をとるようにするので、積極的に質問して疑問点を確認するようにしてください。また授業で扱った作品をできるだけ読むように努めてください。
成績評価の方法	出席および学期中の小テスト(3割)、学期末の試験(7割)によって総合的に評価します。
教科書／テキスト	必要な資料はプリントで配布します。
参考書	川崎寿彦『イギリス文学史』(成美堂)、レイモンド・ウィリアムズ『田舎と都会』(晶文社)、川北稔『イギリス近代史講義』(講談社現代新書)。

履修コード	025601
科目名	イギリス文学特講I
担当者名	石原 孝哉

講義の到達目標(ねらい)	イギリスのルネッサンス期の文学について講義します。主な作家とその作品を通じて、イギリス文学の大きな流れを読み取るのがこの講義の目的です。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期は、「ヨーロッパにおけるルネッサンス運動の流れとその実態」、「イギリスのルネッサンス」について、Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, William Shakespeareなどについて講じます。中心になるのはShakespeareの作品で、教科書にそって講義を進めます。 7月には、夏休みのレポートの課題を提示します。 後期は、前期に引き続き教科書にそって Shakespeareについて講義します。John Bunyan, John Miltonの文学について講じます。プレゼンテーションやパワーポイントについて説明した後、グループごとに研究発表をしてもらいます。
準備学習	シェイクスピアの作品を通読し、あらかじめその概観を頭に入れておいてください。
履修上の留意点	講義形式で授業を進めますが、文学理論の部分は多少難解なので、意欲ある学生の受講を求めます。
成績評価の方法	期末試験、レポート、研究発表の結果により評価します。
教科書/テキスト	ノースロップ・フライ著『シェイクスピア喜劇の世界』三修社
参考書	石原孝哉 『シェイクスピアと超自然』南雲堂

履修コード	025701
科目名	イギリス文学特講II
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい)	18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。 もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人もいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。 そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLYRICAL BALLADSという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。 イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩や、William Cowperなどの作品を読んでいく予定です。
講義の内容/ 授業スケジュール	(1~8) Love Poetry (9~15) Nature Poetry (16~24) Religious Poetry (25~30) Poetry of Meditationなど多様な作品を読んでいきます。
成績評価の方法	前期のレポートと期末試験によって評価する。
教科書/テキスト	教場にて指示します。

履修コード	025801
科目名	イギリス文学特講III
担当者名	濱口 真木

講義の到達目標(ねらい)	代表的な詩人を取り上げて、作品の精読を中心にさまざまな解釈を紹介しながら、それぞれの詩人の生き方や思想などを考察する。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期はイギリス・ロマン主義の代表的な詩人に関して生い立ちや代表作など基本的な解説を中心に進めていく。作品の精読や解釈をまじえながら文化、社会、宗教等の問題、詩人たちの人間観などを読み取る。主に取り上げる詩人は、イギリス・ロマン主義の先駆けとなるバーンズやブレイク（第1回~4回）、その基礎を築いたワーズワスやコウルリッジ（第5回~8回）、そしてイギリス・ロマン主義の発展に重要な役割を果たしたバイロン、シェリー、キーツ（第9回~15回）。後期は主にキーツの作品や手紙を精読しながらキーツの実人生や詩心などを考察する。取り上げる作品は『エンディミオン』（第1回~10回）や『ハイペリオン』（第11回~15回）。
履修上の留意点	予備知識なしに授業を受けても理解し難いので、あらかじめ授業で取り上げる詩人について調べておいてください。
成績評価の方法	前期1回、後期1回のレポートにより評価するが、出席等を評価に加える場合もある。
教科書/テキスト	教場にて指示します。

履修コード	025901
科目名	イギリス文学特講IV
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	「私」で語られる一人称の小説について解説します。イギリス小説を中心に、アメリカと日本の小説も含み、近代小説の第一号ともいわれる『ロビンソン・クルーソー』(1719)からここ数年に出版された小説まで扱います。小説、手紙、自伝、日記など、書く行為そのものについての考察ともなるでしょう。前期・後期末に小レポートの提出と、事前に問題を提示した上での自由記述形式の小試験を実施します。
講義の内容／授業スケジュール	前期 第1回：オリエンテーション、第2～5回：小説の誕生、第6～11回：教養小説と病人の語り、第12～13回：書簡体小説、第14～15回：小試験とレポートコメント 後期 第1～4回：入れ子構造と日英小説比較、第5～9回：自伝小説、第10～13回：オープンエンディング、第14～15回：小試験とレポートコメント
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、小レポート、小試験の結果により総合的に評価します。
教科書／テキスト	特になし。
参考書	・イギリス小説とその読み方については、川口喬一『イギリス小説入門』研究社 ・小説の研究方法については、川口喬一『嵐が丘』を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』

履修コード	026001
科目名	イギリス文学特講V
担当者名	モート、セーラ

講義の到達目標(ねらい)	この授業では、19世紀初頭のイギリス絵画や、カントリー・ハウス、庭園、その時代のファッションを視野におきながら、ジェイン・オースティンの世界を考察します。 テキストとしてジェイン・オースティン(1775-1817)著『高慢と偏見』を読みます。この古典的名著は、1813年に出版され、当時の諸問題を扱ったものです。この小説は、5人の姉妹の愛と結婚についての物語であり、19世紀の社会階級間で生ずる偏見と、恋人を離れ離れにさせてしまう誤解についての物語にもなっています。J.M.W.ターナー(1775-1851)、ジョン・コンスタブル(1776-1837)、ジョージ・スタップズ(1724-1806)など当時の風景画家の絵画も参考にします。
講義の内容／授業スケジュール	最初の授業でさらに詳しく説明しますが、次の事柄を考察していきます。 * 社会階級やダンスや当時のファッションなどの風習。 * 自然や環境の変化をジェイン・オースティンがどう扱ったのか。 * 女性の教育や結婚に対する考え方。 ペアや小グループによるディスカッションも行ないます。
成績評価の方法	レポートや課題の提出もあります。
教科書／テキスト	テキスト：'Pride and Prejudice'. Jane Austen (Oxford World's Classics. Oxford University Press. 2008. ISBN13-978-0-19-9535556-9). ¥1,150。(生協で購入してください。)
参考書	オースティンの研究書および19世紀のイギリス絵画の参考書については、最初の授業で説明します。 DVD: * 『プライドと偏見』ジョウ・ライト監督、2005年。 * 『高慢と偏見』BBC製作、サイモン・ランドン監督、1995年。 * 『ジェイン・オースティン 秘められた恋』ジュリアン・ジャロルド監督、2007年。(オースティンの書簡集をもとにした映画)
その他	* 授業は英語で行います。

履修コード	026101
科目名	イギリス文学特講VI
担当者名	丸小 哲雄

講義の到達目標(ねらい)	美学からみた文学(芸術)批評の講義。言語芸術によって美的体験と教養体験を高めるために、文学批評のさまざまな方法に親しむように目指します。文学者・芸術家も制度の中で作り出されるもので、そのような制度の中で人は「美しい」と感じる方向へ進み、自分に関わらないものは自分を高めたいことを知ることになります。そして「美しい」は「憧れ」で、「憧れ」とは読み手自身にないものや不在感・欠落感をあぶり出し、読み手の日常生活から外部へ向かわせます。それには人として生きる<生活世界>と「審美学」を結びつける方法を身につけることが大事です。したがって、文学の批評方法とは作品の内部読解から外部読解に向けてゆくプロセスを見出してゆくこととなります。 できるだけ多くの文学作品を読むことにしています。
講義の内容／授業スケジュール	前期スケジュール：(英米)文学の基礎知識についての講義 1 言語の階層性：母語(自然言語)と外国言語と芸術言語の相違について(1～3) 2 文学の基本的要素及び文学の機能と力：文学と批評の基本的用語の習得について(4～7) 3 文学の基本概念と作品テキストテキスト演習：文学の美的体験(読み・解釈・批評)と教養経験について(文学史・様式史・一般史(8～14)) 後期スケジュール：さまざまな批評方法についての講義；作品読みと批評演習 1 伝統批評と伝記批評(15～17) 2 ロシア・フォルマリズムとニュー・クリティシズム(18～20) 3 テーマ批評と精神分析批評と受容理論(21～23) 4 構造主義と記号論とポスト構造主義(24～26) 5 ニュー・ヒストリシズムとポストコロナル批評とカルチュラル・スタディーズ(27～28)
準備学習	あらかじめ指示された作品を読んでくること、すくなくとも自分の意見(文学体験)を具体的に表現できるように準備することが大事です。(正しいか否かは問題ではありません。)
履修上の留意点	1 読書リスト及び講義用のプリントを毎回配布しますので、プリントをファイルする用具を用意すること。 2 英語の作品を読むことはもちろんのこと、日本語で読めるものは多読するように心掛けること。
成績評価の方法	出席率、翻訳課題、リーディング課題、前期・後期のターム・ペーパーなどの総合評価。クラスでの発表者は評価の対象になります。
教科書／テキスト	参考書は講義内容に対応して指示します。
参考書	必要に応じて随時指示し、作品テキストの読みの課題を出します。

履修コード	023201 023202
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	英語の基礎知識を確認しながら、TOEFL等の練習問題に取り組み、文法・読解力を磨く。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期：(1) センテンスにおける名詞・代名詞の役割 (2～3) 文型を決定する二種類の動詞 (4) 形容詞と副詞の役割 (5～6) 句と節の種類 (7) 動名詞の役割 (8～9) 分詞の役割 (10～11) 不定詞の役割 (12) 前置詞の役割 (13) 関係詞の役割 (14～15) 接続詞の役割 後期：(16～20) 名詞句と名詞節 (21～25) 形容詞句と形容詞節 (26～30) 副詞句と副詞節。
履修上の留意点	語学の習得には、単調に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練習すること。
成績評価の方法	毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。
教科書/テキスト	プリント配布。
参考書	適宜指示。

履修コード	023101 023102
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	教科書の講読および付属のDVDの視聴を通じ、英語読解力および聴解力を高める。読解力については、英語文献を使ってリサーチが出来る英語力の基礎を身につけることを目標とする。リスニングについては、付属のDVD以外のものも利用しつつ、様々な英語に対応できる聴解力を身につけることを目指す。
講義の内容/ 授業スケジュール	(前期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習 (後期) 1. オリエンテーション、2. ～15. 教科書に沿った演習
履修上の留意点	必ず予習をしてくること。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	出席、授業への取り組み、および期末テストにより評価します。 * なお、3分の1以上欠席した者には単位は出ない。
教科書/テキスト	Scott Berlin, Megumi Kobayashi 著、『World Adventures』(金星堂、2011年) 2300円(税別)、ISBN 978-4-7647-3907-9

履修コード	023401 023402
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	英語力の基礎を固めます。読解、文法、語彙、聴き取り、英会話、英作文を総合的に学習します。ペアワーク、グループディスカッション、ディベート、プレゼンテーションも行います。
講義の内容/ 授業スケジュール	前期 (1) オリエンテーション (2～13) 教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ 後期 (1～13) 教科書に沿って進む。(14) 期末テスト (15) まとめ
履修上の留意点	1 数種類の辞書を使い予習をして臨むこと 2 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること 3 提出物は書式を指定します。授業でマニュアルを配りますが、最低限のパソコンの知識があることが望ましいでしょう。
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席、小テスト、期末テスト、提出物、発表に加え、授業への参加・貢献度により総合的に評価します。
教科書/テキスト	Peter Duppenthaler, __Current Issues and Topics__(大阪教育図書、2008年)1,600円 ISBN987-4-271-11316-4 C3083
参考書	Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate (Oxford: 2006)

履修コード	023301 023302
科目名	英語演習 作品講読I
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)	総合的な英語力の養成を目的とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	TOEIC: Part I, II (1-8) Part III, IV (9-15) IDENTITY: Unit 1-4 (16-23) Unit 5-8 (24-30)
履修上の留意点	毎週課題を出す。 毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	前期末、後期末の試験および授業内の発表や提出物、出席によって評価する。
教科書/テキスト	『新 TOEIC TEST 総合スピードマスター入門編』(Jサーチ出版) IDENTITY(Oxford University Press)

履修コード	029101
科目名	英語学演習I
担当者名	ピアス, D. M.

講義の内容／ 授業スケジュール	<p>Conversation in economics, sociology, and politics, organized in dialogues or groups. We will pursue three levels of speech practice: 1) Practice in daily conversation of such as that of which you are already capable. 2) Semi-abstract conversation, elicited by a mixture of lecture and dialogue. Topics will be sociological. 3) Academic conversation. The third level introduces a new level of vocabulary and speech pattern. Academic conversation prepares many of you for overseas university study.</p> <p>ALIA: Grammar, reading, and composition will be practiced every week, in an oral style that you have never before encountered.</p> <p>LOGISTICS: Three absences per semester permitted. Tests are didactic, not disciplinary, and unannounced. Grading is likely to be generous, as people in this class are sincere and self-motivated. Classes proceed closely according to the textbook; coming to class without the textbook counts as an absence.</p>
成績評価の方法	<p>ATTENDANCE: Six absences are allowed, but the final grade will be adversely affected starting from five absences. Seminars, funerals, weddings, sickness, etc. are valid excuses for absence, but they are not exemptions from the 6-absence rule.</p> <p>EXAMINATIONS: Small unannounced exams will mark the progress of learning. The exam questions will be taken from passages in the textbook that we have already studied.</p> <p>GRADING: The final grade depends 70% on your improvement over your ability in the first class.</p>
教科書／テキスト	<p>“Sociological Investigation”, 2011, Adam Pelagius, Themis Research Group. In the first class meeting we will have a diagnostic test; do not buy the text until after the first class.</p>

履修コード	029001
科目名	英語学演習I
担当者名	三浦 弘

講義の到達目標(ねらい)	<p>自然な英語を聴き取ったり、通じる英語を話したりするうえで欠かせない、発声のメカニズムと英語発音の基本を体系的、かつ網羅的に学習する。言語音声の生理的メカニズムを精密な発音記号を習得しながら学び、英語の母音・子音に関する注意事項から始め、音節の概念、単語の強勢と文の強勢の違い、話しことばに見られる音声変化までを概説する。また、母語である日本語の音声を客観的に認識し、英語音声との対照が自覚できるように人間の言語音全般に触れる。さらに、イントネーションに関して、代表的な分析法を概説する。イントネーションの選択には話者の意図が含まれているので、文法、意味論・語用論、談話構造といった他の研究領域との関連にも触れ</p>
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>前期 第1回 イントロダクション、第2-3回 言語音の発出、第4-5回 長母音・二重母音・三重母音、第6-7回 音素と発音記号、第8-9回 摩擦音と破擦音、第10-11回 鼻音とその他の子音、第12-13回 音節、第14回 強音節と弱音節、第15回 前期のまとめ</p> <p>後期 第16-17回 単一語の強勢、第18-19回 複合語の強勢、第20回 弱形、第21回 音素分析の問題点、第22-23回 連続した音声の諸相、第24-25回 イントネーションの形式、第26-28回 イントネーションの機能、第29回 英語諸方言の発音、第30回 後期のまとめ</p>
準備学習	教科書には、CD が付いているので、予習・復習の際に発音記号を見ながら、繰り返し練習してほしい。
履修上の留意点	精密な発音記号への習熟を目指すので、発音辞典に親しみ、努力してほしい。授業は演習形式で行うので、出席を重視する。
成績評価の方法	平常点（分担発表と積極的な参加度）とレポート（授業期間中に2回提出）による総合評価。
教科書／テキスト	Peter Roach 著 English Phonetics and Phonology (4th ed.) with Audio CDs (2009年刊) Cambridge University Press, 4,165円 (Web価格) ISBN 978-0521717403
参考書	<p>教科書（第4版）の旧版（第2版）の翻訳書： ピーター・ローチ著（島岡 丘・三浦 弘訳）『英語音声学・音韻論』（1996年刊）大修館 3,990円 ISBN 4469243922</p> <p>発音辞典 J. C. Wells著 Longman Pronunciation Dictionary(3rd ed.) with CD-ROM (2008) Pearson ESL, 4,497円 (Web価格) ISBN 978-1405881180</p> <p>D. Jones 他著 Cambridge English Pronouncing Dictionary (17th ed.) with CD-ROM (2006) Cambridge University Press, 4,424円 (Web価格) ISBN 978-0521680875</p> <p>その他は随時指示する</p>

履修コード	029201
科目名	英語学演習II
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	英文法・語法のおさらいをし、よりしっかりした英語を使えるための基礎を固める。本講義では特に文法・語法の基礎を固めることで、しっかりした英文を書くための力をつけることを目指す。
講義の内容／ 授業スケジュール	<p>毎回配布するプリントを使いながら、文法・語法の重要事項を確認します。重要事項確認のためには、TOEICやTOEFL等で出た（あるいはその対策のために作られた）問題を多く用いる予定です。文法事項を確認した上で、これを応用した英作文をすることにより、学んだ重要事項を実際に使うことが出来るかどうかを確認します。</p> <p>（前期） 1. イントロダクション、 2. ～15. 文法・語法の重要事項の確認および英作文</p> <p>（後期） 前期と同様に行います。</p>
履修上の留意点	出席と授業への取りくみを重視します。
成績評価の方法	<p>出席、授業への取り組み、および各学期中に何度か行われる小テストにより評価します。</p> <p>* 特に出席と授業への取り組みを重視します。3分の1以上欠席した者には単位は出しません。</p>
教科書／テキスト	ハンドアウトを配布します。

履修コード	029301
科目名	英語学演習III
担当者名	町田 尚子

講義の到達目標(ねらい) 世界共通語としての英語と多様な英語の双方を視野に入れ、英文科の学生が知っておくべき英語と英語の歴史に関する基本的な知識の修得と考察が中心です。

講義の内容／授業スケジュール

第1週 Introduction: What is English?
第2週 David Crystal, The English Languageおよびプリント資料で英語の多様性の現状を、英語使用の多様性（母語・第一言語、第二言語、外国語として）から概観します。
第3週 David Crystal, The English Languageおよびプリント資料で英語の多様性の現状を、地理的な広範さ・地域差から概観します。
第4週 英語の多様性を歴史的背景の外面史からみます。
第5週 英語の歴史的変化を外面史と関連付け、言語接触の観点で概観します。古英語期のキリスト教化、デン人への侵襲・支配が英語の変化にどのような影響を及ぼしたかを考えます。
第6週 英語の歴史的変化を外面史と関連付け、言語接触の観点で概観します。中英語期への転換となるノルマンの征服とフランス語支配が英語の変化にどのような影響を及ぼしたかを考えます。
第7週 英語学および言語学の基本的知識を音声、音韻について共時的側面と通時的側面に言及して説明（復習）します。
第8週 英語学および言語学の基本的知識を形態、統語（文法）について共時的側面から説明（復習）します。
第9週 古英語入門（1）音韻
第10週 古英語入門（2）語形変化と文法
第11週 古英語入門（3）語形変化と文法
第12週 初期中英語入門
第13週 チョーサーの頃の英語
第14週 初期近代英語入門
第15週 理性の時代と英語
第16週 アメリカ英語とは
第17週 英語の特徴（1）語彙について：英語はなぜ同義語が多いか
第18週 英語の特徴（2）音韻について：英語の長母音に何が起こったか
第19週 英語の特徴（3）語形変化・活用による文法関係を示す機能の消失
第20週 英語の特徴（4）語順の確立
第21週 英語の特徴（5）助動詞の発達
第22週 “文法”とは（1）
第23週 “文法”とは（2）
第24週 “文法”とは（3）
第25週 “文法”とは（4）
第26週 さまざまの英語（1）場における使い分け（Register）
第27週 さまざまの英語（2）話し言葉と書き言葉
第28週 さまざまの英語（3）New Media(Internet)における英語
第29週 さまざまの英語（4）Text English
第30週 英語の未来

履修上の留意点 欠席する場合は必ず、メール(machida@komazawa-u.ac.jp)等で連絡し、プリント教材、課題の指示を受けること。

成績評価の方法 授業中の課題等発表の評価点(20%)、前期末(9月)と後期末(1月中旬)に提出するエッセイ・レポート(各40%)を総合して成績評価点を出します。

教科書／テキスト David Crystal: The History of English (久保内瑞郎他編注『クリスタル：英語史入門』) 初版1993年、重版2008年 金星堂 ISBN978-4-7647-0856-9 C3082 及びプリント資料使用。

参考書 David Crystal, The English Language第2版(2002年) Penguin Books ISBN 0-14-100396-0
R. L. Trask, Language: The Basics第2版(1999年、2001年リプリント) Routledge ISBN 0-415-20089-X
その他の参考書は教室で指示します。

履修コード	029401
科目名	英語学演習IV
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい) 日本語を母語とする学習者にとって難解と考えられる英語の文法項目に関して、その理解を深め、間違いの少ない使い方へつながることを目的とする。

講義の内容/ 授業スケジュール	第1回 introduction 第2回 英語と日本語 第3回 定冠詞 第4回 不定冠詞 第5回 無冠詞 第6回 加算名詞 第7回 不加算名詞 第8回 現在時制 第9回 現在完了 第10回 現在完了 英米の違い 第11回 現在完了と過去時制 第12回 過去完了 第13回 現在完了進行形 第14回 現在完了と現在完了進行形 第15回 学生による研究発表 第16回 学生による研究発表 第17回 学生による研究発表 第18回 学生による研究発表 第19回 学生による研究発表 第20回 学生による研究発表 第21回 学生による研究発表 第22回 学生による研究発表 第23回 学生による研究発表 第24回 学生による研究発表 第25回 学生による研究発表 第26回 学生による研究発表 第27回 学生による研究発表 第28回 英語と日本語の相違 第29回 今後の課題 第30回 1年間の総括
----------------------------	---

履修上の留意点 英語の文法に関して、自分が難解に感じる点など、自らのテーマを持って受講すること。夏季にそのテーマで自ら研究を行い、その結果を後期に発表してもらうので、積極的な取り組みを期待する。テキストや参考書はすべて英語の原書を用いる予定である。

成績評価の方法 前期の授業内での発表と後期の研究発表を中心に評価する。
*なお、3分の1以上欠席した者には単位は出ない。

教科書/テキスト 教場にて指示する。

履修コード	024701
科目名	英語学概論
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい) 英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容/ 授業スケジュール	主な講義内容は以下の通り。 1) What is linguistics? (言語学とは何か) 1-2 2) Phonetics (音声学) 3-8 3) Phonology (音韻論) 9-15 4) Morphology (形態論) 16-17 5) Lexicology (語彙論) 18-19 6) Syntax (統語論) 20-21 7) Semantics (意味論) 22-23 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派) 24 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野) 25-30
----------------------------	--

成績評価の方法 前期末及び学年末の試験によって評価する。

教科書/テキスト J. D. O' Connor, Better English Pronunciation, (Cambridge University Press) 1980, (Paperback)

参考書 参考文献は教場にて紹介する。

履修コード	025501
科目名	英語史
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい) 世界の共通語とまでいわれるようになった英語とは、どのようなバックグラウンドを持つ、どのような性質の言語であるのかということ、イギリスの歴史や文化とともに学びます。英語の歴史を学ぶことは、現代の英語がいかなる性質の言語であるのかということを知る上で大変参考になります。また、英語の歴史とイギリスの歴史や文化とは非常に密接に関わり合っています。したがって、英語の歴史を学びながら、英語の性質についてより深く知るとともに、イギリスの歴史や文化の基礎知識をも身につけるとするのが本講義のねらいです。

講義の内容／授業スケジュール 英語のルーツから現在まで、また、英語と他のヨーロッパの言語との関係性を含む幅広いトピックを以下のようなスケジュールで扱います。前期は英語の外面史を中心に、後期は内面史を中心に扱います。

- (前期)英語史：外面史
1. ガイダンス
 2. イントロダクション1 英語の多文化性と国際性
 3. イントロダクション2 英語のルーツ
 4. 英国史の中の英語史1 イベリア人～ケルト人
 5. 英国史の中の英語史2 ローマ支配時代のブリテン島
 6. 英国史の中の英語史3 アングロ・サクソン人の到来
 7. 英国史の中の英語史4 ヴァイキングの侵入とその影響
 8. 英国史の中の英語史5 ノルマン征服とその影響
 9. 英国史の中の英語史6 ノルマン征服後～英語の復活まで

10. 標準英語の成立
11. ルネサンス・宗教改革と英語
12. 英語の辞書と文法の成立
13. 英語圏の拡大1 (アメリカ英語)
14. 英語圏の拡大2 (世界の英語)

(後期)英語史：内面史

1. ガイダンス
2. 単語の構造
3. ～6. 文法的特徴：名詞
7. 文法的特徴：形容詞・指示詞
8. ～11. 文法的特徴：動詞の特徴
12. ～14. 音韻的特徴
15. 後期試験

* 授業の進捗等により、上記の予定と多少ずれが生じることもあります。

成績評価の方法 平常点、および期末試験(前期・後期)をもとに成績をつけます。

教科書／テキスト 前期：(資料集) 菊池清明他編『英語史：現代英語の特質を求めて—多文化性と国際性』1300円(初回授業時に販売します)
ISBN:4-903933-34-4
後期：(教科書) 唐澤一友『英語のルーツ』(春風社)(まだ出版されていませんが、後期には間に合うように出版される予定です)

参考書 唐澤一友『多民族の国イギリス—4つの切り口から英国史を知る』春風社、2100円。ISBN:978-4-8-6110-148-9

履修コード	025101
科目名	英語表現法
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい) 英米の映画を通じて、多様な英語表現の用例に触れて、言葉遣いのニュアンスを学び、英語の基礎を培う。

講義の内容／授業スケジュール 前期：(1)ガイダンス(2～8)『フォー・ウェディング』(9～15)『ノッティングヒルの恋人』。後期：(16～20)『グリーンフィンガーズ』(21～30)『秘密と嘘』。

履修上の留意点 語学の習得には、単語に思えることの繰り返しと、継続的な積み重ねを厭わずに実践することが不可欠となる。毎回の練習問題のみならず、インターネットや新聞、映画など日頃触れる英語に関心を持ち、自主的に英語力を練磨すること。

成績評価の方法 毎回授業の冒頭で文法の予備知識についての質疑を行い、予習・復習など積極的な学習姿勢を確認し、前期と後期のテストの結果を加味して、出席状況も考慮のうえ総合的に判断する。

教科書／テキスト 教場で知らせる。

参考書 必要に応じて紹介。

履修コード	024901
科目名	英語表現法
担当者名	河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい) 平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。一般的に、ややもすると機械的な学習と単なる暗記に終止する傾向が見られるので、それを打破するためにも、優れた英文に触れながら英英辞典を多用し、英語で英文のイメージをまとめることが望まれる。本講義ではさまざまな場面や角度からの英語表現の習得を目指したい。

講義の内容／授業スケジュール (1～2)辞書ならびに参考書の紹介、小テストの実施。(3～4)Articles。(5～6)Nouns。(7～8)Pronouns。(9～10)Adverbs and Adverbials。(11～15)Prepositions and Phrases。(16～18)Past Participles。(19～21)ing-Forms。(22～23)Auxiliary Verbs。(24～25)Infinitives。(26～29)Conjunctions and Correlatives。(30)まとめならびに総復習。

履修上の留意点 授業効果をあげるためにも、あらかじめ文法書を熟読し、英文の形を整理していただきたい。授業はすべて演習形式をとるため、予習・復習に専念し、まじめな学習を心がけていただきたい。

成績評価の方法 年2回の試験(7月と1月)ならびに小テストを基本的に評価することになるが、出席状況を重視する。遅刻は基本的に認めない。

教科書／テキスト 緒方勲『英語表現への道』(成美堂、1996)1,545円。

履修コード	025001
科目名	英語表現法
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい) ここで扱う英文はすべて日常会話のものばかりで、いわゆる書き言葉なるものは一つもない。口語英作文と考えてもらえばよい。はじめに基本となる英文の表現を確認する。次に口頭で答えてもらえる程度の短い文を練習し、基本が身に付いているかどうかのトレーニングを行う。次にコミュニケーションの実際の場面を想定し、これはあらかじめ分担任を決めておくので1人1問の分量を板書してもらう。この授業で扱う表現はすべて実生活を土台としたもので、できるだけ簡単な表現で巧みな自己表現が出来るようになることをねらいとしている。

講義の内容／授業スケジュール それぞれ定められた場面に必要とされる表現の例文、Useful Expressionの説明、およびテキストに収録されているもの以外の表現を簡単に説明し、その後はすべて学生諸君に1問ずつ質問に答えてもらうBasic Trainingの練習を行う。Writing Practiceはあらかじめあてておくので準備をし、板書してもらう。またテキストとは別に、アメリカのColloquialismや、その他面白い表現について学び、自由作文をしてもらうことも考えている。

☆今年度は、下記にあげるテキストのPart I から始める。

準備学習 授業開講時に英英の辞書の説明をするので、受講者は英英辞典を所有することが望ましい。

履修上の留意点 授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。遅刻・欠席はマイナス評価、Assignmentは必ずやってくるように。

成績評価の方法 毎回あてるQuiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書／テキスト 『コミュニケーションのための口語英作文』(The Road from Writing to Speaking) (成美堂) 1,680円

参考書 授業内にて紹介して行く。

履修コード	024801
科目名	英語表現法
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい) いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。また、この他にも日常会話の英語表現の演習も行います。

講義の内容／授業スケジュール (1~8) Studying Abroad, English Food, Internet, Accomodation; (9~15) Pets, Environment, Meeting with Friends, Going to see the Movie; (16~24) Reading Books, Finishing the Report; (25~30) Attending Classes, Getting a Part-Time Job などのトピックを扱います。

履修上の留意点 授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法 前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書／テキスト 教場にて指示します。

履修コード	028801
科目名	英作文演習
担当者名	東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい) 基本的には、ある程度の長さの英文を正確に書けるような実力を養成する。対象とする日本語の文章を英語に単に直訳するのではなく、その文章の内容を英語で簡潔、明瞭に伝達できる技能を研磨する。「教育」「環境」「文通と旅行」「スポーツと娯楽」「社会問題」「大学生活」など各テーマに沿ってまとめられた20章構成のテキストを使用し、英語の基礎力を総合的に高める。前半の第1章から第12章の内容は、多様な日常生活を扱う英文で、手紙やEメールの作成も含まれる。後半の第13章から第20章では、英語での議論の仕方やその表現力を身につけ、社会・時事問題の話題に関して、自分の意見を表現する英語力を育成する。

講義の内容／授業スケジュール 毎回、各章の練習問題(15問ほど)、サンプル英語対話のリスニングとそのディクテーション(書き取り)、基本英文の暗記並びに応用英作文の口頭発表(クイック・リスポンス)をこなし、「読み」「聞き」「話し」「書く」の4技能を高める。また、各章のテーマに関連する語彙の暗記に努める。例、「環境」に関しては、global environment/ eco-systems/ forest recycling/ carbon dioxide/ harmful chemicals/ environmental protection/ combustion of fossil fuels/ global temperaturesなどの用語。中英和辞典の効果的な利用方法
(1) 日本語の文章の内容を伝達する・意識のコツ(2~5) 文章から名詞・名詞句への転換。例「若者の人口は急激に減っている」→the radically decreasing number of young people(6~8) 手紙文の書き方・Eメールの作成(9~10) 会話文から書き言葉へ(11~12) 英文での主張の仕方・要旨を伝える(13~15) 新聞英語に学ぶ(16~18) 英語エッセイを書く(19~22) 社会・時事問題の英語(23~25) 英語の名文や、英字新聞に学ぶ(26~)。

履修上の留意点 理由のない遅刻者は入室を認めない。無断欠席が4回以上した場合、その者は成績評価対象外となる。予習を必ずして、毎回の授業に参加すること。中英和辞典を必ず持参すること。

成績評価の方法 原則として次の5項目に基づき評価を下す。①毎回の授業内小テスト(25%)②年5回の小レポート(10%)③前期のまとめ試験(25%)④後期のまとめ試験(25%)⑤夏期休暇の課題レポート(15%・後期の初日の授業にて提出)、その他、自由課題による英作文レポート。

教科書／テキスト English Writing for Global Communication(『グローバル社会の英語作文』) 金星堂出版 価格1950円

参考書 随時、授業内で、英語活用辞典や熟語辞典などを指示する。

その他 特に3年次ゼミの履修者は、英語論文・ゼミ論作成に関する英作文力養成のため、必ず、この英作文演習を履修すること。

履修コード	028901
科目名	英作文演習
担当者名	モート、 セーラ

講義の到達目標(ねらい) このクラスでは効果的な英文作成の技法を学び、パラグラフ・ライティングや、短いエッセイなどの書き方も学びます。さらに、書く技法の発展に役立てるように、さまざまな説得力ある、格調高い文章を読みます。口頭や文章によるコミュニケーションを通して、自分の意見を述べたり、自分の考えを論議できるようにします。第1部では文やパラグラフの統一性や一貫性を学び、同時に思考過程、編集、下書き作成の技法について考察します。脚注や後注の付け方なども学びます。第2部では、短いエッセイの構築と展開の方法を学びます。さらに議論の展開方法や、反証の議論も学びます。第3部では、到達レベルに応じて、リサーチの技法、長いパラグラフや短いエッセイなどを扱います。

講義の内容／授業スケジュール 前期
(1) オリエンテーション
(2~15) 教科書の第一部と第二部を同時に進み、時に第三部も学習する。
後期
(1~15) 同上。

履修上の留意点 授業は英語で行います。

成績評価の方法 授業中の参加度、学期末のレポートによる。

教科書／テキスト *Effective Academic Writing 1 - the paragraph. Alice Savage, Patricia Mayer. Oxford University Press. 3,500 yen.
テキストの購入方法は授業の中で説明します。その後で購入してください。生協で購入してください。

履修コード	028501
科目名	英米思想史
担当者名	麻生 享志

講義の到達目標(ねらい) 英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、興味を持てるようになることを目標とします。さらに、ひろく英米文化に関心を深められればいいと思っています。哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

講義の内容／授業スケジュール (1) 概説と文献 (2-5) アルクインから英中世哲学へ (ほか、以下同) ・アンセルムスと神存在証明・大学とスコラ哲学・オッカムの唯名論以降 (6-12) トマス・モア『ユートピア』・F. ベーコンと欧近世哲学・ホッブズの政治哲学・認識論者ロックと彼の民主主義論・知覚とバークリ・ヒュームの経験論・英国倫理学の歴史 (13-22) ベンサムと政治学・ミル子の功利主義・A. スミスと経済学・ギボンと歴史の思想・バークの美学・カーライルの英雄思想・M. アーノルドと教養の理想・ラスキンとベーターと唯美主義・ニューマンと英国宗教思想史・19世紀英国思想の価値 (23-27) エマソンと超絶主義・パースの「生」の哲学・真理論としてのプラグマティズム・ジェームズの宗教心理学・デュエイの教育哲学 (28-30) 進化論とスペンサー・新ヘーゲル主義の観念論・分析哲学の時代へ

準備学習 講義に対する、その都度の準備学習は特にありません。

履修上の留意点 最低限の常識的なルールを守ってもらい、あとは、興味に応じて講義を聞く事を「楽しんで」もらいたいと思っています。

成績評価の方法 成績は、出席による平常点 (60%強)、および後期のレポート (線上試験として講義時に回収・締切厳守) によって評価します。レポートに対する追試験は行いません。ただし上述の場合に加え、学生の希望によって講義時に発表を行い、平常点を加味せず発表内容のみによって採点する場合も考えています。(発表者はレポート試験も免除。)

教科書／テキスト 久保・河谷編、麻生ほか著『原典による哲学の歴史』(公論社刊) 3200円を予定。

参考書 参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

その他 初日はガイダンスとし、定時に開始し、5分間程度、資料を配布して質問を受け付けます。(その後は、雑談の内容にあてる予定で、退出自由。) この時配布する資料は、履修に必要なもので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。このガイダンス資料配布および質問受付は、支障の生じない限り、初回授業終了時5分程度にも行う予定です。

履修コード	028301
科目名	英米文化
担当者名	広川 治

講義の到達目標(ねらい) 「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの演劇・映画・DVDをリストの指定作品から選び、レポートにまとめて随時提出することになる。

講義の内容／授業スケジュール (4月) レポートの書き方、対象作品についての説明
(5月) 米アカデミー賞授賞式について：賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品
(6・7月) 英米の映画・演劇あるいはテレビ番組・音楽からテーマを設定し、講義予定
(9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ (街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録) を見ていく。
(11・12月) 様々なテーマ (歴史・言語・芸術・生活等) を映画・演劇・テレビ番組等にさらに探っていく。

準備学習 必要に応じて授業時に指示。

履修上の留意点 出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。

成績評価の方法 提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細や各レポートの書き方は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ (DVD) 4作品程度は見てレポートをまとめることになる。

教科書／テキスト プリント配布の予定。

参考書 授業内に紹介する。

履修コード	026301
科目名	演劇演習（イギリス・アメリカ）
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	舞台芸術は作者による創造と、役者や演出家らによる作品世界の再現と、観客の想像力という三要素によって成り立つ。授業ではこれら三要素のうち、作者による作品創造と演出家らによる作品の再現に注目し、その根底にある人間観や社会意識を探りながら、英米演劇の秀作とその映画化について理解を深めることを目標としている。
講義の内容／授業スケジュール	前期：（1～8）エドワード・オールビー作『動物園物語』、（9～15）ハロルド・ピンター作『背信』。 後期：（16～23）ユージーン・オニール作『夜への長い旅路』、（24～30）デイヴィッド・オウバーン作『ブルーフ』。
履修上の留意点	劇作品の理解には、様々な角度から継続的にテキストを分析することが望ましいので、その障害となる遅刻や欠席といった事態は回避するように努めること。
成績評価の方法	毎回の発言内容と姿勢、及び前期と後期のレポート（各1400字程度）で総合的に評価。
教科書／テキスト	教場にて案内する。
参考書	荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年） ISBN：4787584588 ベラ・パラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林、1992年） ISBN：4905640857

履修コード	026201
科目名	演劇特講（イギリス・アメリカ）
担当者名	落合 和昭

講義の到達目標(ねらい)	主として、20世紀のアメリカの劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」）等を通して、できるだけ多角的に考察する。後期には、数回を費やして、イギリス中世演劇やギリシャ演劇にも目を向け、現代演劇との共通点や相違点を探る。また、講義の中で、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、劇作品を通して、具体的に、考察する。 講義で取りあげる劇作家は、多くは、アメリカの劇作家であるが、それ以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	第一回 オリエンテーション（授業の進め方・内容等についての説明） 第二回 ピューリタン（1） 第三回 ピューリタン（2） 第四回 Arthur Miller(1915-2005)（1） 第五回 Arthur Miller(1915-2005)（2） 第六回 Susan Glaspell(1882-1948) 第七回 リアリズムと表現主義（1） 第八回 リアリズムと表現主義（2） 第九回 Eugene O'Neill(1888-1953)（1） 第十回 Eugene O'Neill(1888-1953)（2） 第十一回 劇のプロットの要素 第十二回 Shirley Jackson(1919-65) 第十三回 Alice Gerstenberg(1885-1972) 第十四回 Tennessee Williams(1911-83)（1） 第十五回 Tennessee Williams(1911-83)（2） 第十六回 Thornton Wilder(1897-1975) 第十七回 John Boynton Priestley(1894-1984) 第十八回 Murray Schisgal(1926-) 第十九回 「登場人物」 第二十回 Samuel Beckett(1906-89)（1） 第二十一回 Samuel Beckett(1906-89)（2） 第二十二回 Harold Pinter(1930-2009) 第二十三回 Sam Shepard(1943-) 第二十四回 Bernard Pomerance(1940-) 第二十五回 Peter Shaffer(1926-) 第二十六回 Arhur Kopit(1937-) 第二十七回 アリストテレスの『詩学』、ホラティウスの『詩論』 第二十八回 中世演劇（1） 第二十九回 中世演劇（2） 第三十回 期末試験
履修上の留意点	講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。
成績評価の方法	期末試験が全評価の50%、前期の課題が25%、後期の課題が25%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2,000字から4,000字）とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不合格」とする。
教科書／テキスト	プリント
参考書	『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房

履修コード	029701
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	ダーリン, M.

**講義の内容/
授業スケジュール**

The aims of this course are for 3rd and 4th years students to improve their English skills; develop their discussion abilities, become more confident English speakers; expand their vocabulary. Students will improve their speaking, listening and reading skills, mainly through small group discussion tasks. By choosing some class content, students will be encouraged to be more autonomous language learners. The typical class will consist of small group discussions. Each group will have a leader who will introduce a news article, summarize it and facilitate the discussion. The remainder of the class will be spent discussing issues from the textbook. To develop their vocabulary, students will be required to keep a vocabulary notebook, making weekly entries of new words learnt from group discussions and from the textbook.

成績評価の方法

Evaluation will be based on attendance, active participation in class, quizzes, vocabulary notebook and presentations.

教科書/テキスト

Impact Issues 3
Richard R. Day
Pearson Longman
978-962-01-9932-5

履修コード	029601
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	マーティン, S. F.

講義の到達目標(ねらい)

This class is based on the assumption that University level students should be expected to conversant, in the language of the humanities and sciences, regarding contemporary problems and issues facing the individual and Society. This class will use a socio-ethnographical approach to understanding a selected sample of Western culture through popular movies. The central theme to be explored is the conflict between personal growth and social institutions.

The core tasks will begin with short lectures building an intellectual foundation with key concepts derived from Plato, traditional Eastern philosophy, modern psychology, and recent biological research. The students will then analyze selected scripts and/or movies through a comparison with those previously discussed concepts. Students will then work in small groups with task based exercises culminating in group presentations.

**講義の内容/
授業スケジュール**

Spring Semester

Week 1 — Orientation Discussion/Lecture ... the purpose of the class ... Star Wars Documentary
Week 2 — Plato, 'The Myth of the Cave'
Week 3 — Plato, 'The Myth of the Cave'
Week 4 — Freud and Jung, 'An Iceberg Metaphor of Consciousness'
Week 5 — Freud and Jung, 'An Iceberg Metaphor of Consciousness'
Week 6 — Bonobos and Chimpanzees, 'Windows to Our Genetic Roots'
Week 7 — Bonobos and Chimpanzees, 'Windows to Our Genetic Roots'
Week 8 — Jill Bolte Taylor, 'Birth, Death, and Re-birth of Consciousness'
Week 9 — Jill Bolte Taylor, 'Birth, Death, and Re-birth of Consciousness'
— Myth, Mandala, and Mandelbrot Sets
Week 10 — Group Intelligence — Lao Tzu and Confucius, 'Conflicting Eastern Approaches to the Individual and Society'
Week 11 — Group Intelligence — Lao Tzu and Confucius, 'Conflicting Eastern Approaches to the Individual and Society'
Week 12 — Movie, Charlie Chaplin's 'Modern Times'
Week 13 — Movie, Charlie Chaplin's 'Modern Times'
Week 14 — Movie, Charlie Chaplin's 'Modern Times' ... Student Presentations
Week 15 — Semester Summary ... Re-orientation ... the purpose of education

Fall Semester

Week 1 — Greetings, Spring Semester Review ...
the purpose of the class ... Star Wars Documentary
Week 2 — Plato, Freud and Jung, The Apes, Jill Bolte Taylor,
Eastern Philosophy, and 'Modern Times'
Week 3 — Movie, 'Avatar'
Week 4 — Movie, 'Avatar'
Week 5 — Student Presentations
Week 6 — Movie, 'The Wizard of Oz'
Week 7 — Movie, 'The Wizard of Oz'
Week 8 — Student Presentations
Week 9 — Victorian Era Morality and the Vampire as Modern Myth
Movie, 'Queen of the Vampires'
Week 10 — Movie, 'Queen of the Vampires'
Week 11 — Student Presentations
Week 12 — Movie, A Christmas Carol
Week 13 — Movie, A Christmas Carol (Remake- Comparison)
Week 14 — Student Presentations
Week 15 — Semester Summary ...
Re-orientation ... the purpose of education

成績評価の方法

Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

教科書/テキスト

All materials will be provided by the instructor.

履修コード	029801
科目名	オーラル・イングリッシュ
担当者名	レイン, R. V.

講義の到達目標(ねらい)	This course will help students better understand how TV commercials are made as well as better understand the differences between the American and Japanese cultures as seen in each country's TV commercials. This class will help students make and support opinions and express those opinions in English during class discussions.
講義の内容／ 授業スケジュール	[1] Class introduction with a discussion of the criteria we will use in class to evaluate TV commercials. [2-29] During the first half of the class students will be shown selected American TV commercials and the effectiveness of each commercial will be discussed. During the second half of each class students will show the class a Japanese TV commercial and discuss that commercial's effectiveness with the class. [30] Exam.
準備学習	Students will prepare an evaluation of a Japanese TV commercial at home and discuss the commercial with other students during class.
履修上の留意点	This is a discussion class so students should try speaking English as much as possible during class and share their ideas about the TV commercials with other students. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be graded on their TV commercial evaluations, participation in class discussions, attendance and the Final Exam.
教科書／テキスト	none
参考書	none
その他	none

履修コード	028401
科目名	外国文学
担当者名	杉山 秀子

講義の到達目標(ねらい)	ロシア文学のエッセンスを理解することにより、ロシア人の精神構造の中身を少しでも理解してもらいたいです。このことにより今後諸君がグローバル時代を乗り切っていくために何らかの役に立つであろうことは間違いない。
講義の内容／ 授業スケジュール	(1) まずパワーポイントでロシア文学の概論を提示し、予備的知識をつけてもらう。 (2) ロシア文学の華である19世紀に生きたゴッゴリ、ドストエフスキー、トルストイまた19世紀末から20世紀初頭を生きたチエホフその他ソヴェート時代の作家の作品をPC教場で可能な限り多くのDVDを用いて紹介する。 (3) 作品を鑑賞後は教員があらかじめ字数を示し、その範囲内で定められた題目に基づいてパソコンで打ってもらう。
準備学習	パソコンに慣れていない人はこの際日本語を打てるように少しずつ慣れておこう。 授業では慣れてきたらバンバン打ってもらいます。過去の授業経験からいうと、一年間で相当日本語の文章力がつきます。
履修上の留意点	授業やDVDを通じて興味を持った作品について、なるべくたくさん翻訳で通読して欲しいと思います。
成績評価の方法	通常授業時のパソコン打ち(50%)を基本に、出席状況・授業態度等を勘案し、総合的に評価します。 注意点としては、普段授業でDVDをちゃんとみていないとパソコン打ちが出来ないので気をつけること。 教場でみせるDVDは通常ツタヤにはないものが多く出席していないと何のこともわからずパソコン打ちが困難な場合が多い。
教科書／テキスト	何も購入しないでもいいです。
参考書	授業のはじめに参考書のいくつかを提示します。

履修コード	028201
科目名	ギリシャ語
担当者名	長谷川 岳男

講義の到達目標(ねらい)	西洋の多くの言語の語彙や文法にとってルーツに位置する古典ギリシア語の基礎を学ぶことを主要な目的としています。そして古典ギリシア語のみならず、その文法や語彙の学習、読解を通して、英・独・仏・伊などの言語の仕組みを理解することもめざします。
講義の内容／ 授業スケジュール	前期は、第一回目のオリエンテーションで古典ギリシア語を用いていた古代ギリシア世界が西洋文明において有する意義と、西洋諸言語における古典ギリシア語の影響と学ぶ現代的有用性を説明して学習の動機付けを行います。第二回目、三回目はローマン・アルファベットとは異なるギリシア・アルファベットを学び、第4回目から5回程度、文法の基礎事項を扱って、現代の西洋諸言語に通ずる決まりを理解します。その後、簡単な古典ギリシア語の講義を文法事項の学習とともに進めることで、古典ギリシア語の理解を深める予定です。このような進行の合間に、古典ギリシア語の理解には、その背景にある古代ギリシア世界の理解が不可欠なために、何度かビデオやスライドなどで、ギリシア世界に触れてもらおうと思っています。
準備学習	課題として出される教科書の練習問題やテキストの和訳の予習が必要となります。
履修上の留意点	ただ講義に参加するだけでは古典ギリシア語の習得は難しいので、受講生の皆さんの積極的な取り組みが必要です。具体的には、最初の文法事項の学習の際には、練習問題を解いて参加しなければ意味がありませんし、講読の際には事前に予習することが不可欠になります。
成績評価の方法	二度行うテスト、講義時に練習問題を解いたり、講読において和訳する際の積極的な参加などを総合して評価します。ですから出席は必要となります。このような形で評価しますので、追試験は行いません。
教科書／テキスト	田中利光『新ギリシャ語入門』、大修館書店、3400円、ISBN 4-469-21191-5。それ以外に必要なものはこちらで印刷して配布します。
参考書	講義中に随時、指示します。

履修コード	028601 028602
科目名	現代美術
担当者名	矢野 陽子

講義の到達目標(ねらい)	この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。
講義の内容／授業スケジュール	(1) ガイダンス (2~4) 19世紀後半の美術 (5~7) 世紀転換期の美術 (8~13) フォーヴィズムとキュビズムおよびその他の20世紀初頭の動向 (14~17) タダからシュルレアリスムへ (18~19) 抽象主義 (20~21) パウハウスなど (22~24) 抽象表現主義からポップ・アートへ (25~30) 戦後の様々な動向
履修上の留意点	美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。
成績評価の方法	夏休みの課題レポートと学年末の筆記試験、出席率、授業態度を合わせて評価します。
教科書／テキスト	講義時にプリントを配布します。
参考書	美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円 そのほか授業中適宜紹介します。
その他	授業は毎回、画像を見ながら進めます。

履修コード	024201 024202
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ小説の精読を通して英語の基本的な読解力並びに文法力を養う。単なる英文和訳ではなく、有機的な英文の内容理解・解釈を試みる。コンテキスト・コンプリヘンションから、適宜な日本語の選択ができるように努め、語感を養う。また、アメリカ小説を通して、アメリカの農村と都市、地方主義、社会、文化、芸術、経済、政治、歴史への認識・情報・知識を深め、アメリカの民主主義の実態が如何なるものであるのかを考察する。到達目標は、英字新聞を辞書を引かなくてもだいたい理解できる程度の基礎的な英語力をつけること。
講義の内容／授業スケジュール	内容：20世紀初頭のモダニズムの黎明期の中西部出身の作家Sherwood Andersonから、William Saroyan、Erskine Caldwell、Eudora Welty、Truman Capote、Carson McCullers等、アメリカの代表的な作家の厳選された作品を精読し、アメリカの現実を考える。 前期：Caldwell、Saroyan、Andersonの短篇小説を読む(テキスト3~35頁)。英字新聞(プリント配布)を読む(2回程度)。 後期：Welty、Capote、McCullersの短篇を読む(テキスト36~80頁)。英字新聞(プリント配布)を読む(2回程度)。
履修上の留意点	理由のない遅刻者は教場への入室不可。無断欠席を3回以上した場合は、その者は成績評価対象外とする。中英和辞書並びに英英辞典を必ず持参すること。発表者以外の他の者も必ず予習をして授業に参加すること。
成績評価の方法	原則的に次の5項目に基づき評価する。①毎回の授業内小テスト(25%)②前期のまとめ試験(25%)③後期のまとめ試験(25%)④年間5回の小レポート(10%)⑤夏季休暇課題レポート(15%)
教科書／テキスト	『アメリカ短編名作選』（阿野文朗・両角千江子編注、金星堂、1600円程度）
参考書	随時、授業内で指示する。

履修コード	023901 023902
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	平易な英文のものから始めて、いくつかの短編と詩を読みながら、文学テキストの基本的な読解力を養います。
講義の内容／授業スケジュール	授業は以下のスケジュールで進めますが、進み具合によって調整することがあります。 1-2: Mansfield, The Canary 3-4: Saki, The Open Window 5-6: Carter, The Werewolf 7-10: アジアの英語短編 11-14: Hemingway, Hills Like White Elephants 15: 前期のまとめ、補足。16-19: 詩を読む 20-24: Waugh, Mr. Loveday's Little Outing 25-29: Bowen, A Day in the Dark 30: 後期のまとめ、補足
準備学習	取り上げる作家のほかの作品を数多く読むようにしてください。また、テキストの疑問点をまとめて授業に臨むことがもっとも効果的な学習につながります。
履修上の留意点	注のないテキストを使うこともありますので、わからない箇所については必ず辞書、事典で調べる習慣をつけてください。分担して発表してもらいますので、予習を欠かさないでください。
成績評価の方法	出席と授業への取り組み(4割)、学期末の試験(6割)を総合的に評価します。
教科書／テキスト	後期には九頭見一士編『現代イギリス短編集』(Contemporary British Masterpieces, 金星堂、ISBN: 978-4-7647-0316-2)を使用します。
参考書	授業時に適宜、紹介します。

履修コード	024001 024002
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい) アメリカの作家による短編小説を読み、英語力の向上を図ると同時に、テキスト分析の基礎を学ぶことで、広義の意味での読解力の向上を目指す。
前期・後期末にレポート提出とディクテーションおよび音読試験実施。優秀レポートの発表あり。レポート、発表は英語、日本語いずれも可。

講義の内容／授業スケジュール
前期
(1) オリエンテーション
(2~13) 教科書。うち一回はレポート作成法中心。
(14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
(15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。
後期
(1~13) 教科書。
(14) レポート提出。ディクテーション。音読試験。
(15) レポート全体コメント。個別返却。プレゼンテーション。

履修上の留意点 第一回目の授業より必ず辞書を持参すること。
授業中の積極的な参加が求められる。

成績評価の方法 出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、レポート、ディクテーション、音読試験の結果で総合的に評価する。

教科書／テキスト 酒本雅之・岩元巖 註解『古典アメリカ短編集』（成美堂）¥1,300
ISBN4-7919-0518-0

参考書 1 川口喬一『イギリス小説入門』（研究社）イギリス小説の流れと特徴を原文入りで易しくまとめた良書。小説研究のヒントも得られる。
2 Eastwood, Oxford Practice Grammar: Intermediate_ (Oxford: 2006)
大変優れた文法書。問題つき。

履修コード	024101 024102
科目名	作品講読 作品講読II
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい) イギリス20世紀の短編小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。その他、さまざまな英文に現れる英語特有の表現や言いまわしについても細かくふれていきます。

講義の内容／授業スケジュール (1~8) Thomas Hardy (9~15) James Joyce (16~24) Katharine Mansfield (25~30) W. Somerset Maugham など の 作 品 を 読 みます。

履修上の留意点 発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法 前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教科書／テキスト 教場にて指示します。

その他 授業は演習形式で行います。

履修コード	030801
科目名	3年次ゼミ
担当者名	東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい) アメリカのロスト・ジェネレーションを代表する作家の一人、アメリカ1920年代のジャズ・エイジを代表するF. Scott Fitzgeraldの作品 The Great Gatsby (『偉大なるギャツビー』) を読む。精読により英語力を鍛え、英語で『ゼミ論集』を作成し、卒業論文の作成に備える。個々の研究発表を通じ、プレゼンテーション能力並びにコミュニケーション能力を涵養する。入念な下調べの上、発表に臨むようにする。課外で、TOEIC模擬試験も行う。スコア・700点以上を目標とする。英字新聞(時事英語)を通して、現在を認識する。

講義の内容／授業スケジュール
「前期」
①作品における語り手ニック・キャラウェイの視点・視座。②ウェスト・エッグとイースト・エッグの社会的・人種的・経済的な象徴性(アメリカの東部と西部の相違)。③ギャツビーを取り巻く人間模様とジャズ・エイジのアメリカ。④アメリカン・ドリームの本質(夢と挫折)。1929年の世界大恐慌。⑤アメリカの物質主義とモラル。テキスト: 第1章~第5章。
「後期」
⑥作者フィッツジェラルドとはどんな作家だったのか(伝記を読む)。⑦作品の持つ現代性。テキスト: 第6章~第9章。⑧その他の短編小説。ゼミ論執筆。

履修上の留意点 理由のない遅刻者はゼミ室への入室不可(欠席扱い)。2回以上の無断欠席者は成績評価対象外となる。ゼミ論未提出者も同様に対象外となる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。夏のゼミ合宿、並びに英語資格試験の模擬試験を行うが、これらはゼミ活動・授業の一環であるため、必ず参加すること。英語演習(英作文)の授業を併せて履修し、英作文の力を十分に養うこと。

成績評価の方法 ①ゼミへの参加貢献度・議論内容等(20%) ②前期課題英語レポート(20%) ③プレゼンテーション・研究発表内容評価(25%) ④ゼミ英語論集(25%) ⑤TOEIC模擬試験結果(10%)

教科書／テキスト ①The Great Gatsby (南雲堂フェニックス・英潮社ペンギンシリーズ)

参考書 ゼミの初日、並びに随時、指示する。

その他 ゼミ論未提出の者は、成績評価対象外となるので、留意すること。

履修コード	030191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	映像分析や字幕の作成を通じて、映画作品を読み解く力を養い、言葉の可能性を探る。
講義の内容／ 授業スケジュール	欧米製映画に日本語字幕をつける。映画字幕の役割はたんに表面的な意味の伝達手段にとどまらない。字幕は作品理解を助ける案内役になり得るからである。そうした字幕の可能性を探求するために、時代背景や家庭環境や性差など登場人物の置かれている状況や登場人物の心理を分析し、言葉の機能とコミュニケーションの在り方について考察する。また日本語字幕をつけた映画は、テキストに隠された映像作家の意図を掘り起こしながら、最終的にそれぞれが探求し到達した作品解釈を研究発表し、卒業論文の作成法を学ぶ。
準備学習	作品についての問題点を整理しておくこと。
履修上の留意点	毎回全員に発表の機会があるので、準備を怠らないこと。字幕作成指導が課外活動として必須である。また、ゼミで作成した日本語字幕版の短編映画はオータムフェスティバルで一般公開する予定。
成績評価の方法	評価は、毎時間の発表姿勢と、作成した字幕やレポートの結果から総合的に判断する。
教科書／テキスト	適宜案内する。
参考書	荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年） ISBN：4787584588 ペラ・パラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学芸書林、1992年） ISBN：4905640857

履修コード	031201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	映画『第三の男』でも知られるカトリック作家グレアム・グリーンの初期の代表作『ブライトン・ロック』（1938年）を精読します。虚無的な悪の権化であるテンピラ、ピンキーが、若い娘を道連れに破滅への道を突き進む物語を読んで、文学における悪のとらえ方について考えながら、文学作品の理解を深めます。
講義の内容／ 授業スケジュール	毎回、担当者を決め、担当者の発表を中心に授業を進めます。 1～2回：ゼミの進め方についての説明とグレアム・グリーンへの解説、3～14回：作品の精読、15回：前期のまとめ、16～17回：前期のレポートをもとに討議、18回：映画鑑賞、19～25回：作品の精読、26～28回：批評の精読、29回：全員での討議、第30回：後期のまとめ。
準備学習	翻訳でよいので、事前に作品を通読し、気になる点を整理しておくこと、授業でも活発な討議ができます。
履修上の留意点	1 第1回目の授業までに下に指定する版の教科書を購入しておくこと（ネットでは Amazon.co.jp、書店では紀伊国屋新宿南店が便利）。 2 発表の担当者は辞書をよく引いてハンドアウトを用意すること。
成績評価の方法	授業時の発表（4割）と学期末のレポート（6割）の内容で総合的に評価します。
教科書／テキスト	著者： Kazuo Ishiguro, The Remains of the Day, Vintage International ISBN-10: 0679731725, ISBN-13: 978-0679731726
参考書	授業時に適宜、紹介します。

履修コード	030181
科目名	3年次ゼミ
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	一口に「英語」といっても、様々な方言もあれば、イギリス英語とアメリカ英語のように別々の国や地域で異なる特徴を発達させたもの、さらには、英語が世界で広く用いられるようになり、各地で独自に発達したものなど、実に様々な英語が存在します。そのような状況を反映し、最近ではEnglishesという言葉をよく目にします。本講義では、様々な英語について、それらがどのような歴史的背景に基づいて発達し、どのような特徴を持つものかということを学びます。
講義の内容／ 授業スケジュール	このゼミでは、書物（英文）を通じて様々な英語の発達について学ぶと同時に、CD、DVD、インターネット上の音声等を用いて、実際に様々な英語を少しずつ実際に聞きながら、様々な英語の特徴について考えます。「様々な英語」のうちのどれを授業で扱うかは、ゼミ生の興味に合わせて決める予定ですが、およそイギリスやアメリカのいくつかの方言、オーストラリアやニュージーランドの英語、インドの英語、シンガポールの英語などを扱う予定です。 (前期) 1. イントロダクション、2. ～15. 英文講読およびその内容と関連する発表、ディスカッション等。 (後期) 前期と同様の作業を毎回行います。
履修上の留意点	このゼミでは、ゼミ生の発表に毎回大きな時間を割いて授業を進めます。各自割り当てられたテーマについて事前によく調査をし、発表のためのハンドアウトを作成し、出来る限り詳しく充実した発表を行えるように準備をしてください。
成績評価の方法	出席、授業中の発表、発言、学期末のレポートにより成績をつけます。
教科書／テキスト	必要に応じてハンドアウトを配布。
参考書	随時紹介する。
その他	特になし

履修コード	031191
科目名	3年次ゼミ
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	チャールズ・ディケンズ (Charles Dickens, 1812-70) の『クリスマス・カロル』 (A Christmas Carol, 1843) を読み、読解力や表現力の向上を目指します。前期は作品を通読・精読しながら、様々なテーマで自由にディスカッションをします。後期は作品に関する批評を読んだ上でレポートを作成し、そのレポートの発表と質疑応答をします。
講義の内容／授業スケジュール	前期 第1回：オリエンテーション、第2～12回：作品読解、作品解説、ディスカッション、第13～15回：レポート作成法。 後期 第1～7回：批評読解、第8～15回：レポート発表。
準備学習	授業開始前に作品の通読をするとよいでしょう。
履修上の留意点	就職活動などで欠席する場合は事前に連絡してください。
成績評価の方法	出席は3分の2以上が必要。出席を含めた授業への貢献度、発表やディスカッションの内容、レポートの結果で総合的に評価します
教科書／テキスト	翻訳は新潮文庫の『クリスマス・カロル』。 原文はOxford World's Classics.
参考書	川口喬一『イギリス小説入門』（研究社） イギリス小説の流れと特徴がつかめるのみならず、小説研究のヒントも得られる良書。卒論を小説で書く方には一読をおすすめします。 川口喬一『「嵐が丘」を読む ポストコロナル批評から「鬼丸物語」まで』小説研究のヒントを得られます。

履修コード	030201
科目名	3年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊

講義の到達目標(ねらい)	イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかかなりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウエルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギヨーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。
講義の内容／授業スケジュール	(1) 中世イギリス文学概観。(2～5) 中世英語の文法と発音練習ならびにチョーサーの簡単な英文の読解法。(6～15) The Canterbury Talesの中のThe Pardoner's Taleの読解。(16～19) ゼミ生による研究発表とディスカッション。(20～23) チョーサーの批評文読解。(24～28) The Pardoner's Taleの読解。(29) まとめならびに総合復習。(30) チョーサーの批評文に関する小テスト。
履修上の留意点	イギリス文学史の中世の箇所を一般的な書物をとおして確認し、時代背景を把握していただきたい。開講時に中世イギリス文学に関する文献リストを配布するので、図書館等で文献確認を行い、レポート作成に向けていただきたい。
成績評価の方法	(a) 夏期レポート、(b) レポート口頭発表、(c) 演習発表、(d) 12月の授業最終時に行う小テスト、ならびに(e) 出席状況等を中心に総合的に評価する。ゼミに対する積極的姿勢も評価の対象としたい。
教科書／テキスト	A. C. Baugh版を用いることになるが、この版は現在入手不可能なので、この版をコピーして配布する予定。

履修コード	031101
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 真二

講義の到達目標(ねらい)	Accents of English (地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い) を、音声資料を用いて研究する。
講義の内容／授業スケジュール	International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。(1-8) 研究予定地域：イングランド南部(ロンドン等)、イングランド北部(リヴァプール等)、スコットランド、アイルランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ等。(9-15) 学生の研究発表(16-25) まとめと今後の課題(26-30) 使用予定資料：インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽等。
履修上の留意点	・履修には、英語音声学全般に関する基礎知識が必要である。 ・音声資料の分析等のために、プラクティカルな英語力も要求される。 ・参考書や資料は、英語のもののみ使用予定。 ・後期には、学生各自が、自ら選択したテーマで夏期に研究した結果の発表を行う。 ・口頭発表は、英語で行うことも視野に入れる。 ・後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表やear-trainingなどの基礎学習が不可欠となる。毎回予習の上出席すること。
成績評価の方法	授業内の発表とレポートによって評価する。
教科書／テキスト	教場にて指示する。
その他	夏期に、音声学をテーマにした合宿を行う予定。

履修コード	030901
科目名	3年次ゼミ
担当者名	佐藤 千春

講義の到達目標(ねらい)	アメリカ文学史上、1830年頃から超絶主義 (Transcendentalism) という文芸思潮が台頭してきた。このゼミでは、超絶主義とは何か？を論じ、これにかかわる作家をとりあげてみることにする。その1人がナサニエル・ホーソーン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。彼の作品を精読し、さらにほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。
講義の内容／授業スケジュール	ホーソーン作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。本年度扱う作品は、ゼミ開講時にプリントで配布する予定である。
準備学習	アメリカ・ルネッサンスという時期の時代背景、特長といったことを調べておくこと。
履修上の留意点	あらかじめ発表部分をあておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。遅刻・欠席は厳に慎むこと。人数によって教場変更もあるので4月の開講時に注意していただきたい。
成績評価の方法	分担して発表してもらう姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。
教科書／テキスト	プリントを使用する。4月の開講時に各自に手渡すので注意されたい。
参考書	参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

履修コード	030401
科目名	3年次ゼミ
担当者名	高野 正夫

講義の到達目標(ねらい)	WordsworthとColeridgeがLYRICAL BALLADSを出版した1798年からの約30年間をロマン主義の時代と呼んでいます。イギリス・ロマン派の詩人たちの特徴の一つにその自然観があります。ロマン派の詩人たちは、それまで顧みられることのなかった自然の奥深くにある神秘性や啓示的精神に目を向けて、新たな詩を生み出していったのです。さらに、LYRICAL BALLADSの特徴の一つである、平凡な話し言葉によって書かれた詩は、従来のものより読みやすくなり、このロマン主義の時代に詩は、一般大衆にとって身近なものとなっていきました。そして、彼らが選んだ主題は、自然以外にも、愛や古いバラッドや、神話など、人々の日常生活に関わるものが多かったのです。その他、BlakeやWordsworthの作品にも見られるように、子供を文学作品の重要なテーマとしたのもロマン主義の一つの特徴であったのです。とくにWordsworthは、多くの子供を中心とした素朴な家族の愛を描いた作品を書いています。このようなイギリス・ロマン派の詩人たちが描いた自然や愛そして子供たちを主題とした作品や、Beatrix Potter, Mother Gooseなどを読みながら、当時のイギリスの人々のロマンチックな精神を探っていく予定です。
講義の内容／授業スケジュール	(1~8) Beatrix Potterの生涯 (9~15) Potterの代表的な作品 (16~24) Mother Gooseの魅力と作品 (25~30) Wordsworthの作品
成績評価の方法	レポートや平常点や出席状況を見ながら総合的に評価する。
教科書／テキスト	プリントを使用します。

履修コード	030601
科目名	3年次ゼミ
担当者名	モート セーラ

講義の到達目標(ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> このゼミの目的は、比較文化論的に、日本とイギリス、ヨーロッパの美術の基礎を学び、絵画を見る目を養い、それについて英語で自分の意見を言えるようにすることである。 画家について、その基本的な歴史的背景を学ぶ。 美術鑑賞における、基本的な専門用語を学ぶ。 研究方法を学ぶ。
講義の内容／授業スケジュール	<ol style="list-style-type: none"> 17世紀から現代に至る美術や書物を通して、イギリスの文化や風景・ファッションを考える。 個々の作品を鑑賞したり、同じテーマや作風を比較して鑑賞したりする。 年に2回程度、美術館（上野西洋美術館、根津美術館など）やギャラリーで絵画の鑑賞をする。 必要に応じて、資料を扱う。
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に授業に参加し、研究のスキルを上達させることが要求される。 レポートを提出し、授業中に発表することが必要である。
成績評価の方法	授業内の発表とレポートによって評価する。
教科書／テキスト	プリントを使用する。
その他	英語で授業を行う。

履修コード	027901
科目名	時事英語
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	テレビ、新聞、インターネット等で日々報道される英語によるニュースに触れながら時事英語の基礎を学ぶと同時に、時事英語にとどまらず英語力そのものを向上させることを目標とする。
講義の内容/ 授業スケジュール	主にBBCで報道される最新のニュースを見たり読んだりしながら、そこで用いられる英語を通じて時事英語の基礎を学びます。リーディングとリスニングの力を鍛える訓練になるような授業を目指します。また、毎回一つづつ、その時々時事英語のキーワードなどを覚えることにより、時事英語と関連する語彙力も身に付けます。 (前期) 1. オリエンテーション、2. ~15. 実際のニュースを読んだり見たりしながら行う演習、(後期) 1. ~15. 実際のニュースを読んだり見たりしながら行う演習
履修上の留意点	必ず予習をしてください。予習の際によく分からなかった点については、授業で積極的に質問して下さい。
成績評価の方法	出席、学期末テスト、および授業への取り組みにより総合的に評価します。
教科書/テキスト	使用せず。必要に応じてハンドアウト等を配布します。
その他	受講希望者が多い場合には、受講者数を最大40名程度に制限する予定です。初回の授業で必要に応じて選抜試験を行いますので受講希望者は必ず初回の授業に出てください。

履修コード	028001
科目名	商業英語
担当者名	秋葉 滋

講義の到達目標(ねらい)	-国際ビジネスの現場で使っている英語力を身につける -国際ビジネスで使うレター、E-mailの書き方を身につける -国際ビジネスの実践的説明、解説、経験談、チャレンジする際のアドバイス
講義の内容/ 授業スケジュール	(a) 第1回 (1)オリエンテーション、(2)「国際ビジネスとは？」についての解説と経験談、(3)グローバルな視点で物事を見ること、英語の必要性について説明 (b) 第2回-第7回 (1)英文レター、E-mailの書き方入門と実践、(2)各自の英語による自己紹介 (c) 第8回-第12回 (1)米、ニューヨーク連邦準備銀行発行の「マンガ、The Story of Monetary Policy」を使って経済、金融の仕組み、中央銀行の政策等を学ぶ、(2)英文ニュース、社説を通じて国際ビジネスに使われている英語の習得、(3)各自の自己紹介 (d) 第13回 国際ビジネスに関わる経営者のプレゼンテーション (第1回) (e) 第14回、第15回 前期の復習 (英文レター、e-mailの書き方) (f) 第16回-第23回 (1)英文ニュース、社説を通じて国際ビジネスに使われている英語の習得、(2)テキスト「マンガ、The Story of Monetary Policy」解説 (g) 第24回 国際ビジネス関わる経営者のプレゼンテーション (第2回) (h) 第25回-第28回 国際ビジネスの実践と現場一解説と経験談 (i) 第29回-第30回 期末試験及び国際ビジネスにチャレンジする際のアドバイスを行う
履修上の留意点	テキスト及び次回使う資料、参考資料(メディアが配信する経済ニュース、社説等)の予習
成績評価の方法	プロセス評価(出席、宿題、小テスト、毎回の授業における積極的な発言回数等)40% 結果評価(学期末試験(12月予定)の結果)60%
教科書/テキスト	The Story of Monetary Policy (Comics) by FRB of New York(先生の方で準備)
参考書	未定

履修コード	023701
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI
担当者名	マーティン、S. F.

講義の到達目標(ねらい)	Speech and Communication I will be organized around modes of communication (reading, writing, speaking, and listening), as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects in small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.
講義の内容/ 授業スケジュール	The spring semester will largely consist of communicative exercises geared towards activating latent knowledge of English and fostering a communicative and cooperative atmosphere in the class. Materials will be provided by the instructor, however students will be expected to occasionally use homework assignments as the basis of the following week's exercises. The fall semester will be geared more towards providing students practice in making formal presentations in an academic context. The content will be an anthropological approach to contemporary movies and music as modern myth. The specific focus for each semester will typically be a multidisciplinary analysis of specific movies and/or popular songs. Analysis is tentatively defined as a comparison of a work of art with another more familiar work, or with academically oriented metaphors taken from the arts and sciences, or with life experience. Students are expected to make presentations in their choice of format, but mind mapping and multimedia approaches are encouraged. Students will have the option of working alone, but will be encouraged to work in groups. Basic source material will be provided by the instructor. And as stated for the spring semester, evaluation will be primarily based on regular participation.
成績評価の方法	Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education. Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.
教科書/テキスト	No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

履修コード	023801
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI
担当者名	マーティン. S. F.

講義の到達目標(ねらい) Speech and Communication I will be organized around modes of communication (reading, writing, speaking, and listening), as well as content. Most classes will be organized so as to have students preparing for projects in small groups. But when practical, individual participation will be encouraged and will be included in overall student evaluation.

講義の内容／授業スケジュール The spring semester will largely consist of communicative exercises geared towards activating latent knowledge of English and fostering a communicative and cooperative atmosphere in the class. Materials will be provided by the instructor, however students will be expected to occasionally use homework assignments as the basis of the following week's exercises.

The fall semester will be geared more towards providing students practice in making formal presentations in an academic context. The content will be an anthropological approach to contemporary movies and music as modern myth. The specific focus for each semester will typically be a multidisciplinary analysis of specific movies and/or popular songs. Analysis is tentatively defined as a comparison of a work of art with another more familiar work, or with academically oriented metaphors taken from the arts and sciences, or with life experience. Students are expected to make presentations in their choice of format, but mind mapping and multimedia approaches are encouraged. Students will have the option of working alone, but will be encouraged to work in groups. Basic source material will be provided by the instructor. And as stated for the spring semester, evaluation will be primarily based on regular participation.

成績評価の方法 Attendance is required, and with few exceptions, the instructor will hold students accountable for the minimum attendance required by the Ministry of Science and Education. Final student evaluation will be based on year long attendance, and a willingness to communicate as exemplified by completion of homework assignments and active participation in classroom exercises.

教科書／テキスト No textbook is required, but students will need to have a file holder or notebook for student generated materials and handouts from the instructor. Material to be covered will be comprised of roughly 50% practical conversation, and 50% will be drawn from a variety of lectures and discussions of academic or cultural interest.

参考書

履修コード	023501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI
担当者名	モート. セーラ

講義の到達目標(ねらい) The aim of Speech and Communication I is to develop speaking skills and to improve confidence in giving presentations on a specific topic in small groups.

講義の内容／授業スケジュール I. (1-15) During the first semester the emphasis will be on practicing speaking with other students in pairs and groups in the class in English on various topics to gain confidence.

*Podcasts and the BBC English language learning website will also be used in class to help improve listening and speaking skills.

*Simple and enjoyable ways to improve pronunciation will also be part of the course.

*Students will keep an ongoing diary in class and at home, with photographs, pictures and writing.

II. (16-30) During the second semester students will concentrate on how to research, understand and explain topics from British and Japanese culture.

* This will be in simple, easy-to-understand English, using examples.

*Lengthening sentences and communicating using question forms, such as wh-questions, effectively will also be part of the course.

*Students will be required to give group presentations followed by questions and answers (Q&A), in front of the class at the end of each semester.

*Assignments will be on YeStudy for reference

成績評価の方法 Students will be assessed through the group presentations(35), note-book(20) and classwork, including attendance(45). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.

教科書／テキスト There is no textbook, however a note-book and dictionary will be required in class.

履修コード	023601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションI
担当者名	レイン. R. V.

講義の到達目標(ねらい)	This course will: [1] help students use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, [2] help students speak English without translating from Japanese, and [3] improve students' skills and confidence in giving presentations in front of the class.
講義の内容／ 授業スケジュール	[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-14 & 16-28] During the first half of each class students work in pairs doing textbook speaking activities on a variety of language patterns and verb tenses. During the second half of each class students will give presentations in front of the class on topics selected by the instructor. [15] Midterm exam using selected textbook drill activities. [29-30] Final Exam using selected textbook activities.
準備学習	In preparation for each class, students are expected to practice orally at home the textbook pages done in the previous week's class. Students are also expected to practice their presentation several times in preparation for the next class.
履修上の留意点	Students are expected to be prepared for each class and participate actively. Regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be tested at the midterm and end of the year on selected textbook activities as well as graded on their class presentations. The final grade will be determined on the basis of these grades as well as attendance and class participation.
教科書／テキスト	author: Steven Molinsky and Bill Bliss title: Side by Side, 3rd Edition, BOOK 4 publisher: Longman date: 2003 ISBN 0-13-183937-3
参考書	none
その他	none

履修コード	024601
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	ダーリン. M.

講義の内容／ 授業スケジュール	The aims of this course are for students to improve their English skills, particularly speaking and listening; expand their vocabulary; become more confident English speakers. High-interest themes will be used to stimulate conversation with a strong focus on both accuracy and fluency. Students will have ample opportunities to speak in class and be given a variety of speaking tasks to help develop fluency. To maximize speaking time, students will do a lot of pairwork and speak in small groups. However, students will still have many chances to converse with the teacher. To develop their vocabulary, students will be required to keep a vocabulary notebook, making weekly entries of new words learned from classroom work and from the textbook.
成績評価の方法	Evaluation will be based on attendance, active participation in class, quizzes, vocabulary notebook and presentations.
教科書／テキスト	Interchange Third Edition Student's Book 2 Jack C. Richards Cambridge University Press 978-0-521-60194-8

履修コード	024301
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	シャープ, J.

講義の到達目標(ねらい) First semester: The aim of this course is to introduce students to social issues in the UK via analysis of a variety of news stories taken from different newspapers. In addition to looking at the language used in newspaper articles and the cultural background to them, students will also think about the style, focus and political bias of each newspaper and what that suggests about the people who read them. Students will look at articles for homework and will be given language sheets for each article to help with difficult language and culturally specific content. We will discuss the content of articles and analyse them in class. Students will also make group presentations about news articles they find interesting and lead discussion on them. In groups, we will also try to write a number of persuasive tabloid-style "scare" stories.

Second semester: Students will be given workshop-style training on how to apply for a job in an English-speaking country (specifically, the UK). The course is entirely interactive and hopefully a lot of fun. Each student will have two roles: first, they will be an individual looking for a job in the UK. Secondly, they will be the manager of a small UK company looking for new staff. As managers, students will work together to describe their company, advertise for a job, read applicants CVs and cover letters, interview applicants, and inform them of their decision. As individuals, students will look through job advertisements, research their target company, write and submit a CV and cover letter, prepare for interview, be interviewed, and await the decision! If classes are completed on time, students will also study how to search for an apartment in London through online estate agents.

講義の内容／授業スケジュール

第1回: Introduction: Getting to Know You; Overview of UK Media
 第2回: Headline Analysis: Tabloids vs. Broadsheets
 第3回: Political Bias in Newspapers
 第4回: Student Group Presentations I
 第5回: Article Reading and Discussion
 第6回: Article Reading and Discussion
 第7回: Tabloid Article Writing Activity I
 第8回: Tabloid Article Writing Activity II
 第9回: Article Reading and Discussion
 第10回: Article Reading and Discussion
 第11回: Group Presentations II
 第12回: Article Reading and Discussion
 第13回: Article Reading and Discussion
 第14回: Group Presentations III
 第15回: Recap and Final Class Discussion
 第16回: Introduction to Business English for job hunting. Formation of student companies and writing of company descriptions.
 第17回: Job advertisements I: where to find them, how to read them.
 第18回: Job advertisements II: student companies each advertise for some positions in James's jobs newspaper
 第19回: Researching your target company I: Through the internet
 第20回: Researching your target company II: Telephoning directly
 第21回: Applying for a job with a CV and a cover letter I: how to do it and comparison with Japanese process
 第22回: Applying for a job with a CV and a cover letter II: students prepare their own CVs and cover letters
 第23回: Interviews I: Basics (greeting, answering the easy questions about yourself confidently)
 第24回: Interviews II: Skills and Experience (talking about relevant experiences, giving examples and talking about your skills)
 第25回: Interviews III: Preparation for Interviews: student companies prepare their questions for applicants; applicants prepare for interviews. 第26回: Interviews IV: Students interview each other for jobs at their companies
 第27回: Interviews V: Telephoning to find out if a decision has been made; accepting job offers; coping with rejections.
 第28回: Looking for a place to live in London I: How to find an apartment to rent: how apartments are described
 第29回: Looking for a place to live in London II: Viewing an apartment: the basic features of a lease
 第30回: Final Recap

履修上の留意点

成績評価の方法 前期: Attendance, participation in class, article writing and presentation activities
 後期: Attendance, participation in class, job application and interview task completion, homework research tasks

教科書／テキスト 前期: No textbook. We will look at articles from six different newspapers – The Sun, The Mirror, The Telegraph, The Guardian, The Daily Mail and The Times.
 後期: We will use some material from the Market Leader textbook series and CV / Cover Letter examples from the Cambridge University Careers Office guidebooks.

We will also look at advertisements in the jobs pages from various UK magazines and local newspapers. Students will also conduct website research.

履修コード	024401
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	シャープ, J.

講義の到達目標(ねらい) First semester: The aim of this course is to introduce students to social issues in the UK via analysis of a variety of news stories taken from different newspapers. In addition to looking at the language used in newspaper articles and the cultural background to them, students will also think about the style, focus and political bias of each newspaper and what that suggests about the people who read them. Students will look at articles for homework and will be given language sheets for each article to help with difficult language and culturally specific content. We will discuss the content of articles and analyse them in class. Students will also make group presentations about news articles they find interesting and lead discussion on them. In groups, we will also try to write a number of persuasive tabloid-style "scare" stories.

Second semester: Students will be given workshop-style training on how to apply for a job in an English-speaking country (specifically, the UK). The course is entirely interactive and hopefully a lot of fun. Each student will have two roles: first, they will be an individual looking for a job in the UK. Secondly, they will be the manager of a small UK company looking for new staff. As managers, students will work together to describe their company, advertise for a job, read applicants CVs and cover letters, interview applicants, and inform them of their decision. As individuals, students will look through job advertisements, research their target company, write and submit a CV and cover letter, prepare for interview, be interviewed, and await the decision! If classes are completed on time, students will also study how to search for an apartment in London through online estate agents.

講義の内容／授業スケジュール

第1回: Introduction: Getting to Know You; Overview of UK Media
 第2回: Headline Analysis: Tabloids vs. Broadsheets
 第3回: Political Bias in Newspapers
 第4回: Student Group Presentations I
 第5回: Article Reading and Discussion
 第6回: Article Reading and Discussion
 第7回: Tabloid Article Writing Activity I
 第8回: Tabloid Article Writing Activity II
 第9回: Article Reading and Discussion
 第10回: Article Reading and Discussion
 第11回: Group Presentations II
 第12回: Article Reading and Discussion
 第13回: Article Reading and Discussion
 第14回: Group Presentations III
 第15回: Recap and Final Class Discussion
 第16回: Introduction to Business English for job hunting. Formation of student companies and writing of company descriptions.
 第17回: Job advertisements I: where to find them, how to read them.
 第18回: Job advertisements II: student companies each advertise for some positions in James's jobs newspaper
 第19回: Researching your target company I: Through the internet
 第20回: Researching your target company II: Telephoning directly
 第21回: Applying for a job with a CV and a cover letter I: how to do it and comparison with Japanese process
 第22回: Applying for a job with a CV and a cover letter II: students prepare their own CVs and cover letters
 第23回: Interviews I: Basics (greeting, answering the easy questions about yourself confidently)
 第24回: Interviews II: Skills and Experience (talking about relevant experiences, giving examples and talking about your skills)
 第25回: Interviews III: Preparation for Interviews: student companies prepare their questions for applicants; applicants prepare for interviews. 第26回: Interviews IV: Students interview each other for jobs at their companies
 第27回: Interviews V: Telephoning to find out if a decision has been made; accepting job offers; coping with rejections.
 第28回: Looking for a place to live in London I: How to find an apartment to rent: how apartments are described
 第29回: Looking for a place to live in London II: Viewing an apartment: the basic features of a lease
 第30回: Final Recap

履修上の留意点

成績評価の方法 前期: Attendance, participation in class, article writing and presentation activities
 後期: Attendance, participation in class, job application and interview task completion, homework research tasks

教科書／テキスト 前期: No textbook. We will look at articles from six different newspapers – The Sun, The Mirror, The Telegraph, The Guardian, The Daily Mail and The Times.
 後期: We will use some material from the Market Leader textbook series and CV / Cover Letter examples from the Cambridge University Careers Office guidebooks.

We will also look at advertisements in the jobs pages from various UK magazines and local newspapers. Students will also conduct website research.

履修コード	024501
科目名	スピーチ・アンド・コミュニケーションII
担当者名	モート. セーラ

講義の到達目標(ねらい)	The aim of Speech and Communication II is to develop speaking and listening skills as well as expressing an opinion in English.
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>I. (1-15) During the first semester the emphasis will be on techniques for developing speaking and listening skills in English, which will be practised in pairs and groups on various topics to gain confidence.</p> <p>*Podcasts and the BBC English language learning website will also be used in class to help improve listening and speaking skills.</p> <p>*Simple and enjoyable ways to improve pronunciation and gain confidence in expressing an opinion will also be part of the course.</p> <p>*Students will keep an ongoing diary in class and at home, with photographs, pictures and writing.</p> <p>II. (16-30) During the second semester students will concentrate on how to research, understand and explain topics from British and Japanese culture.</p> <p>* This will be in simple, easy-to-understand English, using examples.</p> <p>*Lengthening sentences and communicating using question forms, such as wh-questions, tag questions and rhetorical questions will also be part of the course.</p> <p>*Students will be required to give group presentations followed by questions and answers (Q&A), in front of the class at the end of each semester.</p> <p>*Assignments will be on YeStudy for easy reference</p>
成績評価の方法	Students will be assessed through the group presentations (35), note-book(20) and classwork including attendance (45). Students will be expected to attend regularly, complete all tasks set in class and participate actively.
教科書/テキスト	There is no textbook, however a note-book and dictionary will be required.

履修コード	029511
科目名	TOEIC (R) ・ TOEFL (R) 講座
担当者名	富士川 美紀

講義の到達目標(ねらい)	This course will help students acquire effective ways of learning practical English and obtain higher scores on both the TOEIC and TOEFL test.
講義の内容/ 授業スケジュール	<p>The purpose of this course is to help students improve the four basic skills of English (listening, speaking, reading and writing) and familiarize them with both the TOEIC and TOEFL test. We will do the following activities in class: ① listen to a variety of English listening materials ② increase reading speed and comprehension of the TOEIC and TOEFL test ③ review grammar and learn vocabulary for the TOEIC and TOEFL. Test-taking strategies will be taught in class. Class activities also include pair work and group discussion.</p> <p>Spring Semester Week 1 Class introduction and guidance Week 2-6 Listening training Week 7-10 Grammar review and vocabulary Week 11-14 Reading training Week 15 Midterm Exam</p> <p>Fall Semester Week 1 Guidance and review Week 2-6 Listening training Week 7-9 Writing training for the TOEFL test Week 10-14 Reading and Speaking training for the TOEFL test Week 15 Final Exam</p>
準備学習	Please come to class well-prepared. Students need to review previous lessons and prepare for review quizzes.
履修上の留意点	Students are expected to attend regularly and participate actively in classwork. Sample TOEIC and TOEFL tests will be given in class, and students will be encouraged to register for an actual TOEIC test in or after the second semester. Excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be evaluated and graded as follows : (1) attendance, classwork and homework assignments (40%); (2) quizzes and midterm & final exams (60%)
教科書/テキスト	None. To be announced in class. Learning materials will be handed out in class.
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.4) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033409 ・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.3) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033386 ・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.2) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033362 ・ TOEICテスト新公式問題集 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033348 ・ The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, Third Edition 出版社: McGraw-Hill: 3版 価格: 3085円 ISBN-13: 978-0071624053
その他	Let's enjoy learning English!

履修コード	029531
科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座
担当者名	富士川 美紀

講義の到達目標(ねらい)	This course will help students acquire effective ways of learning practical English and obtain higher scores on both the TOEIC and TOEFL test.
講義の内容/ 授業スケジュール	The purpose of this course is to help students improve the four basic skills of English (listening, speaking, reading and writing) and familiarize them with both the TOEIC and TOEFL test. We will do the following activities in class: ① listen to a variety of English listening materials ② increase reading speed and comprehension of the TOEIC and TOEFL test ③ review grammar and learn vocabulary for the TOEIC and TOEFL. Test-taking strategies will be taught in class. Class activities also include pair work and group discussion. Spring Semester Week 1 Class introduction and guidance Week 2-6 Listening training Week 7-10 Grammar review and vocabulary Week 11-14 Reading training Week 15 Midterm Exam Fall Semester Week 1 Guidance and review Week 2-6 Listening training Week 7-9 Writing training for the TOEFL test Week 10-14 Reading and Speaking training for the TOEFL test Week 15 Final Exam
準備学習	Please come to class well-prepared. Students need to review previous lessons and prepare for review quizzes.
履修上の留意点	Students are expected to attend regularly and participate actively in classwork. Sample TOEIC and TOEFL tests will be given in class, and students will be encouraged to register for an actual TOEIC test in or after the second semester. Excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade.
成績評価の方法	Students will be evaluated and graded as follows : (1) attendance, classwork and homework assignments (40%); (2) quizzes and midterm & final exams (60%)
教科書/テキスト	None. To be announced in class. Learning materials will be handed out in class.
参考書	・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.4) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033409 ・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.3) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033386 ・ TOEICテスト新公式問題集 (Vol.2) 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033362 ・ TOEICテスト新公式問題集 出版社: 国際ビジネスコミュニケーション協会 価格: 2940円 ISBN-13: 978-4906033348 ・ The Official Guide to the TOEFL iBT with CD-ROM, Third Edition 出版社: McGraw-Hill; 3版 価格: 3085円 ISBN-13: 978-0071624053
その他	Let's enjoy learning English!

履修コード	029521
科目名	TOEIC (R)・TOEFL (R) 講座
担当者名	レイン. R. V.

講義の到達目標(ねらい)	This course will help familiarize students with primarily the TOEIC test [and to a much lesser extent the TOEFL test] by providing students with: 1] instruction in the areas tested; 2] opportunities to take sample exams and 3] test-taking strategies.
講義の内容/ 授業スケジュール	[1] Class introduction, including goals, textbook overview and student assigned seating. [2-5] Listening review and strategies. [6-9] Vocabulary and grammar review. [10-14] Reading review. [15] Midterm Exam. [16-18] Model Test #1. [19-21] Model Test #2. [22-24] Model Test #3. [25-27] Model Test #4. [28-30] Final Exams.
準備学習	Students are expected to come to class having done all assigned grammar and listening review homework assignments from the textbook.
履修上の留意点	Students should be aware that there will be a great deal of homework assigned after each class. Also, regular attendance is essential: ABSENCE OF 1/3 OF CLASSES WILL RESULT IN A FAILING GRADE. Additionally, excessive absences and tardiness will have a negative effect on the student's grade. NOTICE: The class will be limited to 55 students with 3rd and 4th year students receiving first priority.
成績評価の方法	Students will be evaluated on the basis of the following: completion of homework assignments, attendance, class participation and grades received on the midterm and final exams of sample TOEIC tests.
教科書/テキスト	title: Barron's TOEIC TEST, 5th Edition with audio CDs publisher: Barron's ISBN: 9781438070193 [book with audio CDs]
参考書	none
その他	none

履修コード	047111 047112
科目名	日本文化史
担当者名	廣瀬 良弘

講義の到達目標(ねらい) 日本文化の歴史が、当時の社会の生産の仕組みや政治・経済・宗教などと深く関わりあったことに留意しながら、朝廷・公家・武家のみならず民衆が文化の創造に大きな役割を果たしていたことを明らかにしていきたいと思ひます。そして、この日本文化は現代においても、多くは底流として、また、ときには、「日本の代表的な文化」として、存在しています。現代の文化と対比しながら、検討していきたいと思ひます。

講義の内容／授業スケジュール 日本文化の流れを概観し、民衆の躍動やその文化が顕著になってくる中世の文化を中心にその前後の文化にも注目しながら、文化の様相と特色について見ていきます。
・日本文化史概観、・中世文化史研究の動向(1, 2)、・鎌倉仏教と文化(3~5)、・禅宗と五山文化(6, 7)、・南北朝から室町期の文化(8, 9)、・北山文化の展開(10, 11)、・東山文化とその基盤(12~15)、・中世の職能民(16, 17)、・連歌師の旅(18, 19)、・戦国社会と宗教(18, 19)、・戦国社会の駈込寺(20~22)、・大名領国の文化(23, 24)、・統一政権とその文化(25, 26)、・近世文化史研究の動向と寛永文化(27~30)

履修上の留意点 講義の中に出てきた事項について、図書館の蔵書や辞書などで調べ直してみたり、現地に行ってみたりすることが必要です。また、日本文化や歴史、宗教などをテーマとする博物館・美術館などの展示会を積極的に観覧し、できるかぎり「実物」に接する機会を持って下さい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用することをすすめます。なお、本学の禅文化歴史博物館での文化史関連展示会の見学と学芸員による説明会を実施します。

成績評価の方法 定期試験の結果と授業の出席を重視します。定期試験では一般論を回答しても正解とならないことが多いので注意して下さい。つまり授業に出席し、しっかりとしたノートができていないと合格点は取れません。

教科書／テキスト とくに指定しません。必要な資料は随時コピーを配布します。

参考書 講義内容に関する博物館・研究所などを随時提示して行きます。

履修コード	026611
科目名	翻訳演習
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい) 英語の文章を丁寧に読んで訳すことは、英語を深く理解するためのもっとも効果的な方法の一つです。本演習では、報道記事、エッセイ、小説、詩など、さまざまなジャンルの英文を題材に翻訳を試みることで、英語翻訳の基礎力を養います。

講義の内容／授業スケジュール おおよそ以下のスケジュールで進めます。
第1~2回：イントロダクション、第3~5回：論説文の翻訳実習、第6~10回：エッセイの翻訳実習、第11~14回：小説の翻訳実習、第15回：前期のまとめ、第16~25回：小説の翻訳実習、第26~29回：詩の翻訳実習、第30回：後期のまとめ。

準備学習 ふだんから、おもしろそうだと思う英文を自分で訳してみ、翻訳があればそれと比較する習慣をつけると効果的です。

履修上の留意点 授業では毎回、翻訳の実習を行いますので、まじめに取り組んでください。夏休みにも課題を出します。

成績評価の方法 出席と翻訳実習(4割)、課題提出と学期末試験(6割)によって総合的に評価します。

教科書／テキスト 教材はプリントを配布します。

参考書 斎藤 兆史『翻訳の作法』東京大学出版会

その他 授業の性格上、受講生は30人程度としますので、希望者が多い場合には最初の授業時に簡単なテストをします。

履修コード	031251
科目名	4年次ゼミ
担当者名	東 雄一郎

講義の到達目標(ねらい) 卒業論文の指導。夏休みに入る前期において、論題は言うまでもなく、各自がしっかりと論文の構想を立てる。原作・原文テキスト(英語テキスト)や、必読の関係書誌(英文・邦文)がそろうようしておく。また、作家・作品研究の場合は、必ず原作(英文)を精読・熟読しておくこと。

講義の内容／授業スケジュール ①卒業論文とは何か・論文の論題の決定(1~2) ②ジャンル別、グループ指導・書式並びに資料収集(3~4) ③ジャンル別口頭発表と質疑・論文の構成・章分けの仕方等(5~6) ④ジャンル別口頭発表と質疑・下書き(7~10) ⑤ジャンル別口頭発表と質疑・問題点の提示とその解決(11~13) ⑥下書き完成、提出(夏期休暇前)・ゼミ生同士によるグループ・チェック(14~15) ⑦研究室等における個別指導とそれに伴うスケジュール表の配布(16~19) ⑧ジャンル別口頭発表最終(20~21) ⑨指導教授による個別チェック(22~) ⑩大学内個別指導(個別チェック)に加え、メール添付ファイルによる指導も行う。

履修上の留意点 各自のテーマに真剣に取り組む、無断欠席は厳禁。欠席をすると、自分の作業が大幅に遅れ、卒論の期間内提出に間に合わないことになる。ゼミであっても、単位を落とすことがある。

成績評価の方法 ①授業への参加・貢献度(25%) ②ジャンル別口頭発表と質疑(40%) ③提出物・下書き(15%) ④グループ・チェックへの貢献度(20%)

教科書／テキスト プリント配布

参考書 開講時に指示します。

その他 インターネットによる情報収集を行ってもよいが、現存の出版物を参照の上で、その情報の真偽を必ず確認するように。

履修コード	031321
科目名	4年次ゼミ
担当者名	逢見 明久

講義の到達目標(ねらい)	英米演劇・映画作品研究。3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。
講義の内容／ 授業スケジュール	開講時に論文の要旨(400字5枚程度)と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。
履修上の留意点	論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。
成績評価の方法	卒業論文を評価。
参考書	適宜指示。

履修コード	031281
科目名	4年次ゼミ
担当者名	加藤 光也

講義の到達目標(ねらい)	卒業論文作成の基本となるゼミです。論文作成の準備、文献の選び方、論文構成、執筆までを指導します。
講義の内容／ 授業スケジュール	最初の2回ほどで、論文執筆の要領を具体例を挙げながら解説。その後は、各自のテーマに合わせてスケジュールを立て、個別の指導を行います。
履修上の留意点	3年次までの授業を元に、できるだけ論文の対象、テーマを明確にしておくことが大切です。スケジュールに合わせて進行状況を報告してもらいますので、個別指導には十分な準備をして臨むようにしてください。
成績評価の方法	論文への取り組み、課題レポート、論文の内容によって総合的に評価します。
教科書／テキスト	特にありません。
参考書	ゼミの中で適宜、紹介します。

履修コード	031291
科目名	4年次ゼミ
担当者名	唐澤 一友

講義の到達目標(ねらい)	3年次までに学んできたことを基礎として、各自のテーマに沿って卒業論文(英語または日本語)を作成します。全員で何度が集まりますが、それ以外は基本的にメールや個別の面接で指導します。
講義の内容／ 授業スケジュール	(前期)4月に論文執筆法を確認します。5月末までにテーマを絞り、アウトラインを執筆。参照予定の文献リストも作成。夏休みに入る前には、全員で集まり、途中経過の報告会を行います。(後期)後期のはじめには、少なくとも一章分の第一稿を提出。10月末までに残りの章に関しても第一稿を提出。11月には一度全員で集まり、第一稿に基づく報告会を行います。
履修上の留意点	卒論指導を希望する学生は必ず履修すること。第一回の授業に必ず出席すること。提出物の期日はしっかり守ること。メールで連絡が円滑に取れるようにすること。10月末までに書いたものを一度も見せに来ない者については、それ以降一切指導しない(直接来られない場合はメールで送ってもよい)。指導なしで提出された卒論は単位が出ない可能性が高いので、十分注意すること。
成績評価の方法	作業への取り組みや提出物を遅滞なく提出したかどうかという点により評価します。
教科書／テキスト	使用しない。
参考書	必要に応じて指導します。
その他	特になし。

履修コード	031331
科目名	4年次ゼミ
担当者名	川崎 明子

講義の到達目標(ねらい)	3年次ゼミで学んだことを基礎として卒業論文を作成します。英語・日本語いずれも可。数回全員で集合し、後はメールと面接での個別指導となります。
講義の内容／ 授業スケジュール	4月に論文作成法を確認。 5月末の論題提出までにテーマ選択と大まかなアウトライン作成。 10月末から11月初めに第一稿提出。
履修上の留意点	1 当教官の卒論指導を希望する場合は、必ず履修すること。 2 第一回目の授業で、次の程度に絞ったテーマを教官に知らせてください。例:「『オリヴァ・ツイスト』について」、「ディケンズの短編について」、「イギリスの子供について」、「19世紀のロンドンについて」。 3 自分名義のEメールのアカウントを持つこと。
成績評価の方法	提出物の内容と論文の進行により評価します。
教科書／テキスト	特になし
参考書	適宜個別に指示します

履修コード	031211
科目名	4年次ゼミ
担当者名	河崎 征俊
講義の到達目標(ねらい)	本ゼミは3年次ゼミで習得した中世英文学の知識を踏まえながら、チャオサーの作品を鑑賞したい。なお、本ゼミは卒業論文の作成も兼ねているので、ゼミ生の研究分野に沿った研究指導を行う予定。さらに、英語の内容と文体に関する英文を随時読みながら、文章作成の方法を考察していきたい。
講義の内容／授業スケジュール	(1～3) 卒業論文の論題について。(4～8) The Canterbury Talesの読解。(9～15) 内容と文体に関する英文の読解。(16～20) 中世イギリス文学の特質について。(21～29) The Canterbury Talesの読解。(30) まとめ
履修上の留意点	論文作成に関する一般的な書物を熟読し、卒業論文のテーマをあらかじめ設定したうえで授業にのぞんでいただきたい。ゼミ生の研究分野に応じた文献リストを配布するので、図書館等で確認し、資料収集に着手していただきたい。
成績評価の方法	(a) 演習発表、(b) 卒業論文作成にのぞむ姿勢、(c) 出席状況等を中心に総合的に評価する。
教科書／テキスト	A. C. Baugh版をコピーして配布する予定。

履修コード	031271
科目名	4年次ゼミ
担当者名	佐藤 真二
講義の到達目標(ねらい)	3年次にゼミで研究した事項(音声学)を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。
講義の内容／授業スケジュール	研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。(1-8) アウトライン作成。卒業論文指導(9-15) 個別指導(16-30) 9月下旬序章(或いは第1章)提出、10月下旬第1章(或いは第2章)提出の予定。
履修上の留意点	卒業論文の指導を希望するものは必ず履修すること。 履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。 5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にくること。 教育実習に行く学生は早めに論題の準備をしておくこと。 就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。
成績評価の方法	レポートにより評価する。
参考書	渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8(大修館書店)1984年 他

履修コード	031261
科目名	4年次ゼミ
担当者名	佐藤 千春
講義の到達目標(ねらい)	卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。
講義の内容／授業スケジュール	アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行うが、必ずしもこの時期の作家に限定するわけではない。指導は研究室で行う。人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行うことも予定している。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。尚、4年ゼミの曜日、時間は、佐藤研究室にて連絡、発表し、そこでスケジュール表を渡すことにする。4年ゼミを希望する学生は早め上記研究室(1441)に来られたし。卒業論文の指導を希望する場合は、このゼミを履修登録していただきたい。
履修上の留意点	決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をさせていただくことになる。研究室での指導は毎週行うが、出欠は自由。授業・指導等の連絡はすべてメールにて行う予定。その他、詳細は授業開講時に連絡する。
成績評価の方法	論文を作成するにあたって、その過程、および内容などを考慮し評価を出す。
教科書／テキスト	とくに使用せず。 指導の中で指摘してゆく。
参考書	研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

履修コード	031231
科目名	4年次ゼミ
担当者名	高野 正夫
講義の到達目標(ねらい)	4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行います。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。
講義の内容／授業スケジュール	(4月～7月)前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。 (9月～12月)後期は、論文を書く時の具体的な書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。
履修上の留意点	卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。
成績評価の方法	授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。
教科書／テキスト	授業開講時に教場で指示する。

履修コード	031241
科目名	4年次ゼミ
担当者名	モート、セーラ

講義の到達目標(ねらい) このゼミは、学術的な文章の書き方を様々な観点から学ぶことを目的としている。自分の意見を述べたり、あるテーマに対して、比較対照するための文章作成を学ぶ。また自分の主張や反論をどう展開するのかという点についても学ぶ。英語で卒業論文を作成するためのテーマ、および書き方についても指導を行う。東京の美術館を巡りいろいろな芸術作品の鑑賞をします。

講義の内容／授業スケジュール 前期（1－15回）には次のことを行う。
 ・リサーチのスキルを学ぶ。
 ・文献を読む。
 ・パラフレーズやサマリーなどの文章技術を養う。
 ・小グループに分かれてのディスカッション。
 後期（16－30回）
 卒論作成のための個別の助言や、指導を行う。

成績評価の方法 普段の勉強態度の他にレポートなどの課題を含めて評価する。

教科書／テキスト ‘Effective Academic Writing 1 - the paragraph.’ Alice Savage, Patricia Mayer. Oxford University Press. 2007. (3,500yen)
 プリントを使用する。

履修コード	028101
科目名	ラテン語
担当者名	上野 勝広

講義の到達目標(ねらい) ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容／授業スケジュール 下記のテキストを用いて、基礎文法の要点を順次説明してゆきます。必要に応じてテキストにない文例も補充し、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。
 前期は序論から第12課まで、後期は第13課から第24課までを学習します。
 前期（1）導入、ラテン語とは（2～5）文字と発音、動詞の直説法現在・未完了・未来、名詞の第1・2変格など（6～10）動詞の直説法完了・過去完了・未来完了、名詞の第3変格など（11～15）動詞の直説法現在・未完了・未来・過去完了・未来完了、名詞の第4・5変格、形容詞の比較法、など
 後期（16～20）命令法、各種の代名詞、副詞、など（21～25）不定法、数詞、形式受動動詞、分詞、など（26～30）接続法、動名詞、動形容詞、様々な従属文、など

履修上の留意点 練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。
 1回でも欠席してしまうのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担が大きい科目です。

成績評価の方法 年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（80％）に平常点（20％）を加味して評価します。

教科書／テキスト 松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書 辞書と共に初回の授業で紹介します。